京城日報

十日夕刊

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金五十錢
廣告料
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

◎英獨兩軍の大飛行戰

西部戰場に於て英獨大飛行戰あり英國飛行機は廿八機不歸不明となり獨逸側飛行機は十五機破壞されたり（倫敦電報）

◎獨逸大暴動

獨逸デイユゼル、ドルフに於て食糧品問題に關し大暴動勃發し軍人市民等二百餘人虐殺されたり（倫敦電報）

◎憲政候補打止

憲政會公認候補二百六七名にて打止に決せり（東京電報）

◎廣瀨主計監

龍山駐劄軍司令部經理部長陸軍主計監廣瀨正德氏は九日夜出港連絡船さくら丸にて釜山通過東上せり（釜山特電）

◎北京より

▲參戰中止說　支那政府は對獨斷交後第三步の手段卽ち戰團加入問題に關し其後の方針遲々として進捗せず國際政務評議會の評議も想像する程權威なく加入反對者は此機に乘ぜんとし與黨の中にも段總理の心事を疑ひ從來の政策を改變せるにあらざるかと懷疑する者生じ昨今に至りては加入中止說さへ傳へらる四月六日衆議院議員貴攻素、湯漪、秦廣禮の三名は對獨外交は斷交に止め戰團加入を中止したるや否やに就き質問書を政府に提出し卽時回答を迫まりたり、政府に於ても群疑を釋く必要あり相當の手段を經て說明を與ふべしと

▲康有爲の反對　段總理が斷乎たる處置を取る能はざるは外面に現はれたる四圍の事情のみにあらず總統府內に伏在する民黨の勢力に牽制せらるゝが爲めにして正直なる段總理の內外に對する苦心も此處に存す加ふるに南海の康有爲が加入反對の大論文を公表し段內閣の外交失敗を攻擊せり康南海の獅子吼は常路の群鳥を震撼せしめ巨彈は段總理の頭上に落ち俄然爆發したるが如し

▲議會の形勢？　段總理は內閣の運命が日に非なるを看從來より關係を有する小政黨十一政團を糾合し打つて一丸となし政府の與黨として民黨に對抗せんとする中和俱樂部を組織したるが議會を左右するには餘りに小勢力にて寄せ來る反段の波を防止するは殆ど不可能事なるべし

▲斷交遲延眞因　支那政府が七國公使に對する交換條件の提出は加入斷交の期を遲引せしめたる一原因なるが露國革命の結果露獨の現況を知悉せんとし前駐獨公使顏惠慶の報告を待ち居りたるは其大原因なるが如し顏公使は此程スカンヂナビア半島より詳細なる報告を政府に致し露獨の戰況を詳述したり政府は本報告により對獨外交の第三步に踏み入りたり

▲政府側の辯明　段總理は對獨外交に對する國民の疑惑が益々增加するにより機關新聞を通じ遲延の五大原因なるものを發表し政府の方針は一定不變なる旨を發表せり、（一）朝野有力者の反對（二）對獨講和の說（三）對獨斷交後猶ほ獨人の勢力を除去する能はざるを以て遽かに宣戰するに不利なる事（四）米國の態度定まらず支那が先に宣戰するは不利なる事（此時米國宣戰布告の報あり）（五）支那の提出したる交換條件未だ承認を得ず、以上の原因は支那の前途に重大なる關係を有するを以て政府は愼重に研究を進めつゝあり（七日發）

◎總督巡視　義州の動靜

長谷川總督は宇佐美內務部長官古海警務總長を帶同し高橋武官神田秘書官大島副官藤波通譯官宍戶屬等を隨へ八日午後六時二十五分著の特別列車にて新せり是より前新義州驛には藤川道長官藤林廠長深川府尹其他官衙長官府協議員學校組合議員民間の重立たる有志者新義州守備隊兵士在鄕軍人會員小學校普通學校生徒愛國婦人會員等數百名の出迎へあり總督一行は隨員と共に藤川長官の案內にて其列前を一巡して直に

△鐵道ホテルに入れり此日市中一般に國旗を掲揚して歡迎の意を表せるが總督一行人數の夥きと擁塞を賂せしめたることの著しきには人々意外の思ひをなしつゝあるものゝ如くなり同總督一行は九日午前八時十五分豫て總督府より差し廻はせる二臺の自動車及び當地丸加商會の自動車に分乘して義州に向ひ同九時同地著直ちに道廳に於て道長官以下各課主任の事務報告を受けたる後主なる官民に接見し其れより

△統軍亭に登臨して日淸日露兩役の古戰場を弔ひ更に小學校守備隊憲兵隊本部警務部を巡視し零時半より一時半の間に於て道長官邸に於ける午餐會に臨む豫定なるが都合によりては統軍亭より直ちに鴨綠江戰の古戰場たる於赤島に渡り親しく當年の追想を縱にすることゝなるべしとて道當局に於ては假に

△渡船の準備をも調へつゝあり午後は普通學校慈惠醫院作蠶傳習所義州郡廳物產陳列場農學校苗圃等を巡視したる上四時頃義州發直ちに新義州に引き返し同夜復鐵道ホテルに一泊し十日午前府廳に於て深川府尹より事務報告を聽取したる後主なる官民に接見し其れより各官衙小學校普通學校及び市內埠頭を巡視したる後鐵道ホテルに於て午餐を終へ午後の特別列車にて出發歸京の豫定なり（新義州）

◎新義州の總督

長谷川總督一行は豫定の如く九日午前八時半鐵道ホテルを出で夜來の濃霧なる小雨を突て自動車を義州街道に驅り同九時過ぎ義州著小澤前警務部長秦內務部長其他官民多數の出迎を受けて直ちに道廳に入り長官室に小憩して藤川道長官より事務報告を聽取し更に小澤警務部長秦內務部長其他義州各官憲王長たる人々の事務報告を聽取したる後長官邸に於て午餐を認めたり是より前雨天の爲め道路泥濘深くして自動車を驅るに不便なるを以て

△豫定を變更し午後巡視すべき各官衙には宇佐美內務部長官高橋武官を代理として差遣することゝなしたるを更に是を變更し是等諸官衙の巡視は全く之を見合はせ小學校普通學校及州郡廳を巡視するのみに止め農學校其他學校長は孰れも普通學校に於て其所管事務の報告をなせり當日普通學校に於ける授業の參觀中幼年生に至るまで

△巧に日本語を操る實際を目擊して教育の至れるを激賞したり偶同總督は同地各學校に若干金の寄附をなしたる以外更に慈惠醫院の入院患者及び七十歲以上の同地高齡者に對し孰れも金子若干宛を贈與して是を慰藉したりと同日總督の新義州に歸著せるは午後五時半にして再び鐵道ホテルに入れり十日は午前八時三十分鐵道ホテルを出で直ちに

△府廳に赴き樓上に於て深川府尹より事務報告を受けたる後各長官府協議員學校組合議員商議會社銀行の代表者等三十餘名に接見し其れより守備隊營林廠同製材所稅關支署小學校普通學校法院支廳等を巡視し正午頃までに鐵道ホテルに引き歸し午餐後午後一時頃平壤に向ひ出發の豫定なり（新義州）

◎總督一行旅程

西鮮巡視中なる長谷川總督一行は十日午後一時三十分新義州發午後六時二十分平壤著、十一日は同地に滯在、安南道廳並に各官署、寺洞鑛業所等を視察し十二日鎭南浦に向ふ豫定にて其れより黃海道管內巡視の上十五日頃歸京す可し

◎定例長官會議　十日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各局長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集し通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

●京畿道土木會議　京畿道管內土木管區上席者會議は前日に引續き十日午前九時から府內宜化堂に開催せるが同日を以て右會議は終了の筈

◎酒稅事務改正　造石數查定規定

朝鮮總督府酒稅事務取扱手續中改正の件は四月十一日附府令を以て發布のことゝなれり右は朝鮮酒の造石數查定に關する規定を削除するものにして現行取扱の手續に依れば朝鮮酒の造石數は九月一日より二月末日迄に製造したるものを二月末日限り又三月一日より八月三十一日迄に製造したるものを八月三十一日限り查定する事となり居るも朝鮮酒の造石數は府尹郡守島司の指定する期限に從ひ製造者より其の造石數を申告せしめ其の申告に基き之を查定するものなれば製造場の位置と府郡島廳所在地との距離遠隔なる場合等には右の如く查定すること困難なるべきを以て該規定を削除し府尹郡守島司をして適當に之を查定せしむるを便宜と認むるに到り改正せられたるもの

◎醫師試驗日割　來る二十日より施行すべき朝鮮醫術開業試驗日割は十一日發表さる可し

◎前田高等警察課長　總監部高等警察課長前田大佐は九十兩日は各方面に新任の披露挨拶をなし十日夜南大門驛發前任地晉州に歸り後任水間部長の就任事務引繼の上家族を隨へ入京就任すべく多分本月二十一日頃なるべし

◎原田社長歸期　日本郵船會社取締役として久しく東上中の原田朝郵社長は川田文書課長同伴十日東京出發來る十二日午後九時南大門驛著列車にて歸京すべしと

◎神崎警視著任　元山警察署長より京畿道警務部勤務に轉任せる警視神崎稔一氏は十日午後五時十分南大門驛著列車にて著任す可し

◎鮮銀滿洲總支配人　鮮銀理事大田三郎氏は理事就任前滿洲支店總督役なりしが今後は滿洲支店總支配人として在滿各店の事務を指揮監督すべしと

◎川上理事出張　東拓事業部長川上常郎氏は小池參事を隨へ十日午前八時三十分南大門發列車にて全羅南北忠淸南道に於ける同社の殖產殖民土木事務視察のため出張したるが二十三四日頃歸任すべしと

◎松平理事歸著　養父長逝の報に接し東上中なりし東拓理事松平直平子は九日夕九時南大門著歸任す

◎大原鮮銀秘書役　東上中の大原鮮銀秘書役は十日東京出發途中廣島に立寄り十四五日頃迄に新夫人同伴歸京すべしと

◎龜島仁川支店長　靑島天津方面に出張中なりし龜島鮮銀仁川支店長は十日夜南大門驛著入京十二日頃歸仁の筈なりと

◎萬國平和議員來壤　萬國平和會議員米國人ボーリース氏は四月九日來壤坂谷男爵倉地鐵吉氏の紹介狀を携へ工藤平南長官を訪問し本道に於ける農工業衞生等に就き詳密なる說明を受けたる後本道在留外國人鮮人間の融和等に付て互に意見の交換をなし警務部に瀨平南警務部長を訪問して鮮人衞生狀態を聽取する處あり午後三時平壤發列車にて安東縣に向ひたるが同氏は滿洲上海を經由し一度內地に引上げ本年六月歸米すべしと（平壤）

◎靑柳工兵中尉入京　靑島戰爭後語學研究の爲め露國に留學中なりし近衞工兵大隊附陸軍工兵中尉靑柳三郎氏は今回歸朝を命ぜられ四月一日鎭南浦に親族を訪ひ滯在中の處偶々靑島戰に於て知己となりし某氏と三道溝に邂逅し八日星洲と共に石油發動機船に乘じて大同江を溯航し兩岸の風光を探賞し平壤に來り九日午後一時三十分三道星洲と共に京城に赴きたり同中尉は同夜京城に一泊し京城の夜景を見十日午前九時京城發列車にて東京に歸る筈也と（平壤）

◎黑田侯嗣子木浦行　黑田侯嗣子長禮氏は九日大田より木浦に向へりと

◎總監少將招待

山縣政務總監は山形少將送別の意を以て同少將を主賓とし國分司法部長荻田總務局長、具警務官、釜屋武官、隈部大佐、齋藤大橋兩副官、國友警視、遠藤秘書官等十五人を十一日午後六時三十分より朝鮮ホテルに招待晚餐會を催す由なり

◎山形少將送別會　山形少將に對する官民合同送別會は九日午後六時三十分より朝鮮ホテルに於て開會三島鮮銀理事の挨拶に對し山形少將の謝辭あり來會者百八十餘名主客歡を盡して九時卅分頃散會せり

◎記者團の德富氏招宴　滯京中なる本社監督德富猪一郎氏の爲め京城記者團は十日午後六時半より晚餐會を開き同氏を招待す

◎鮮銀店長會議

朝鮮銀行の各支店出張所長會議は來る二十五日より本店樓上會議室に開會する事に決定九日夫々召集通知を發せしが東上中の木村理事大連在任の大田理事も入京し來るべく店長は鐵嶺長春、奉天、大阪、阿部哈爾賓、龜島仁川を初め二十四支店出張所長中歐洲出張中の吉田東京支店長並に開店後日淺き竹島龍井村店長を除く外全部の參加にて東京支店內調查支局長山本理一氏も亦參加すべし而して開期は多分四月末日迄となるべく本店よりは美濃部總裁三島理事中村阿部井內各局長以下各課長司事等列席すべしと

◎吉林鮮銀開店準備　朝鮮銀行吉林支店の開設に就ては安田長春支店長主として其の任に當りつゝあるが既に家屋は北大街財神廟通りに確定場所は附近に殖邊交通兩銀行あり四通の要衝にて商業殷賑の場所なり又店長以下行員は既に其の詮衡を終り近く發表さるべく開店は二十日前後となる模樣なり

◎朝郵決算出來

朝鮮郵船會社の大正五年度下半期決算は會社經理課にて鋭意精算調查を進めつゝありしが此程殆んど出來し同社長の歸京後其決算案の附議となるべき模樣なるが大體の成績は前年同期より良好にて株主總會は諸手續の關係上或は五月上旬に入るべきかとも云ふ

◎製粉工場の新設

鎭南浦に設立さるべき製粉工場は神戶鈴木商店京城支店長杉浦宦作氏個人の事業として資本金三十五萬圓を持つて事業に著手する事となり目下假事務所を鎭南浦三和町島藤商會內に設け杉浦氏は諸器械購入の要務を帶び上京中なるが發動機は紀州和歌山市に於て千五百馬力のものを多分購入すべく工場敷地は加德島に決定したれば來る六月上旬より工場新築の運びに至るべし（平壤）

◎前警務部長送別會

慶南道警務部長より總督府警務總監部高等警務課長に榮轉せる前田昇氏の爲め釜山官民有志者は去る八日送別會開催の筈なりしに同氏は都合上七日赴任地より直ちに京城に赴任せられたるに十一日來釜の筈なるに付き同日午後六時より南濱町芳千閣に於て改めて送別の宴を催すことゝなれり（釜山）

群山

▲客月貿易　群山港に於ける三月輸移出入貿易額を聞くに輸移出品中重要なるものは米穀五十五萬八千五百十七圓大豆一萬八千百二十三圓棉花一萬九千圓重石鑛二萬圓牛皮一萬一千四百十四圓其他合せて總輸移入價格金六十三萬六千五百五十四圓にして輸移入品中價額五千圓以上に達せしものは小麥粉一萬千圓零八十二圓食鹽一萬五千八百砂糖七千九百零九圓生金巾及びシーチング三萬二千六百十二圓綿織糸八千二百九十七圓晒金巾晒シーチング八千九百五十七圓マッチ五千五百九十一圓等にして其他合せて總輸移入額金十八萬三千八百八十五圓なりし

▲客月米檢　三月中に於ける群山米穀檢查所取扱に係る米穀檢查成績を聞くに全北產優等千六百五十叺上格四千五百九十四叺下格四萬一千六百三十七叺禁止一千百五十五叺合計四萬九千零三十六叺他道產下格八千六百三十五叺禁止二百六十二叺合計八千八百九十七叺にして輸出禁止米となりしものは全北產夾雜物混入過多一千百五十五叺包裝不備三千三百四十三叺他道產夾雜物混入過多二百六十二叺包裝不備五百八十九叺等也しが是が輸出仕向地別を擧ぐれば大阪五萬一千六百四十五叺神戶一千三百四十五叺橫濱四千二百五十叺博多三百叺なりしと

光州

▲警務部長送別會　七日浦野前本道警務部長の送別會は七日午後六時半より西村樓にて開會官民の參列者百三十名に及び宮木長官の送別辭を述べ同部長之に答へ餘興として豐竹初音同小菊の義太夫藝妓の手踊等ありて主客十二分の歡を盡して散會したり因に同部長は來る十四日午前七時發咸北道へ赴任すべし

▲鯨益々豐漁　本道大黑山島の捕鯨は昨年十二月開始以來今日迄に六十頭の漁獲を得一頭は少なくも三千圓以上五六千圓を唱へつゝあり尙五月迄は盛漁季續くを以て本漁期中百頭の水揚高を得る計畫の由右に就て宮木道長官は來る十四五日頃林水產の技師を隨へ捕鯨視察の爲め同島へ出張の筈

▲光州壯丁檢查　光州管下に於ける壯丁檢查は大邱より第二大隊長以下來光し五六兩日光山館にて行はれたるが受檢者百廿三名あり內甲種卅七名第一乙種十三名第二乙種十七名丙種廿四名丁種十名戊種一名外に現役志願七名一年志願三名定合十二條の志願者六名同廿一條の志願者四名にして本年は概して體格惡しく昨年に比すれば甲種合格者等半數にも充たざる有樣なりしと

▲吉村二部長巡視　吉村本道第二部長は八日光州發南沿岸巡視の途に就きたるが歸任は廿五日の筈

▲見習試驗志願者　本道にて施行する判任見習試驗の志願者は鮮人十一名內地人廿九名總計四十名なりと

釜山

▲公園改良と植樹　釜山龍頭山公園は曩に田村林學士視察の結果種々改良を要する點少なからざるも府廳に於ては之れが資途なき爲め差當り諸種の苗木を購入し植附を爲すことに止むるの外なしと當局者は語れり

▲檢疫事務所新築　慶尙南道米穀檢查所は從前の慶尙南道米穀改良組合事務所を其儘充用し居れるも事務取扱上不便少なからざるに因り今回釜山稅關裏門外埋立地に新築することゝなり既に慶尙南道廳に於て設計中なるに因り近く工事に著手すべし

▲實習女校奏演會　釜山私立實修女學校第五回音樂奏演大會は十、十一兩日午後六時より釜山座に於て開催の筈なるが出演者は同校生徒釜山有志夫人令孃にて箏、ヴアイオリン、尺八等の奏演ある由なれば定めし盛會なるべし

人事消息

▲八木奘三郎氏（李王職囑託）　慶州遺跡調查の爲め九日夜歸京
▲前田昇氏（高等警察課長）　十日夜晉州へ
▲松井民次郎氏（平壤商業會議所）　十日朝入京總督府へ
▲多久米三郎氏（釜山輕鐵會社員）　同上
▲中野天心氏（某通信）　同上
▲中村辰五郎氏（鎭南浦精米業）　同上天眞樓へ
▲佐々木淸綱氏（釜山辯護士）　同上不知火へ
▲石丸優三氏（慶北道事務官）　十日朝退京
▲稗田又助氏（實業家）▲表助次氏（同）　同上
▲嚴李王職事務官　同上
▲大村大代氏（釜山地方法院檢事正）　十日釜山發金海、三浪津、密陽、梁山、蔚山の管內事務を視察し二十三日歸任の豫定
▲木下宛九郎氏（大邱第八十聯隊附步兵中佐）▲堤元齡氏（馬山重砲兵隊附一等軍醫）　徵兵檢查の爲め釜山に出張中の處十日歸任
▲黑阪常一氏（步兵少佐）▲池永韓巳氏（一等主計）　十日朝內地より龜山に著任
▲大原仁太郎氏（朝鮮水產組合長）　全國水產會に出席の爲め八日釜山發東上
▲マダキール氏（救世軍少將）　九日夜入京救世軍本部へ
▲フレキジャー氏（東京靑年會幹事）　十日朝平壤へ
▲ミラー氏（米國總領事）　九日夜仁川より歸京
▲上田駿一郎氏（總督府屬官）　十日朝大田に出張を命ぜらる
▲同今朝惣氏（總督府土木課長）　同日附鎭南浦に

逐鹿夜話

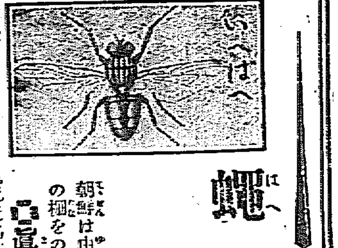
▲今度の總選擧に兄弟揃つて名乘を揚げて居るのが橫山金太郎と橫山勝太郎、村松龜一郞に村松山壽、岡崎運兵衞と高橋久次郎、橫田千之助と前田米藏君などである先づ此連中は兄弟同主義だから善いとして吉村鐵之助と岡部次郎とは義理の親子の間柄で殊に政府黨と非政府黨と別れて居るのが鳥渡奇觀だ

▲島田三郎君が饒舌を提げて紀州へ應援に出掛けると政友會支部では大に驚いて早速『我黨の氣勢に關す』と打電したのを受取つた政友本部では聊か閉口して居る相な

▲島田以上に喋る辯士を遣はせと云へば同君程物忘れで無頓著な人は少なからう先達は某所で下關の忠治君の山高帽を失敬して歸ると妻君が發見して早速粗忽を詫て帽子を返し屆けた事もあつた又た其實會で禁酒の同君であるからサッサと歸らうとして靴を履くと何うも自分の物ではない樣な氣がする結局來會者全部の靴を調べて見ると自分が最初に履いたのが矢張自分のものと判つてほいシマッタ之れだから地方應援に出掛てもズボンや胴衣を取り違へる事があるとは此の人にして頗る滑稽だ

▲丸龜市では總票數四百三十八票を六人で奪ひ合つて居る定員は一名八十八票が法定數だから一人舞ひ込んでは文句はないが六人だから溜らない而も其の六人中丸龜市に住んで市稅を拂つて居るのは醫師團の田阪君唯一人で後は皆輸入だとは驚かされるか

▲犬養木堂君は紀州の山奧へ出掛けて老人から獨逸人と間違へられたが三重縣では尾崎行雄君を散々に攻擊して聽衆はあれ迄に云はなくともと云つて居る相なが之れは此前の選擧に政友會の森田小六郎君や川崎克君が岡山縣に乘り込んで國民黨の惡口を散々にやつた復仇だとの事



蠅退治(一)
▽虎よりも恐しい蠅の毒 ▽朝鮮の蠅は一番不潔
『蠅の研究』著者 小林晴治郎氏談

朝鮮は由來蠅が名物、試みに鮮人街の酒幕や飯屋の棚をのぞけば山盛りのサバルには

●眞ッ黑の蠅 の大群、追へばブーンと飛び休めばまたとまる鳥渡神經質ならざる者にてもこれを見ては實に堪へざるを得んのである、此の蠅はみな馬糞から飯に、飯から咽喉に平氣の平左で往來し其の度毎に

●病毒の媒介 を盛んにやる、朝鮮で虎よりも恐るべきは實に此の蠅でなくて何んであらう!!小林晴治郎氏は總督府醫院の傳染病研究室にあつて今年から朝鮮の蠅の研究を始めた人、昨年まで北里研究所に在つて數年間日本の蠅の研究に努めた人

●「蠅の研究」 といふ著書もある、小林氏曰く『朝鮮は思つたよりも蠅が尠ない、これは此の數年來官民一致して蠅退治に努力された結果であらう、よく世間では蠅の恐ろしさは知つてゐる、蠅が病氣の媒介をすることも知つて居るが兎に角あのブン〜飛ぶ奴が退治されるものかと極めて消極的なあきらめをつけた人もある、併し蠅と雖も

●各自に氣を つけて驅除すれば明かにこれを撲滅するとが能きるのである、現に米國あたりでは官民一致して恐るべき蠅を除いた實例がある、京城などでも是非實行されたいものである、私はまだ朝鮮の蠅は研究して居ないけれども今年はじめて

●蠅の産卵を 見たのは去る三月の十八日であつた蠅の卵は其の後幼蟲(蛆)から蛹となつて一週間經てば成蟲となるから是非此の間に殺さねばならぬ蠅は狹い實驗室に飼つて見ると一年七八回卵を産み産れた卵がまた親となつてその數はだん〜鼠算的に増ゐるから

●その繁殖は 非常なものである、それで此の頃の親蠅を殺せば夏の數萬匹を殺すと同じ結果になるから此の頃の蠅は發見次第親の敵と思つてドシ〜打ち殺すがよい、殊に蠅の卵の最もよく育つのは新らしい馬糞と戶外にある人糞である、其の他

●塵溜の裡は 最も格好な産卵場であるから産卵してから一週間以內に藥で殺すか他に運搬するかしなければならぬ、猶ほ內地の蠅はいへばへ、が九割で他の一割がしまばへくろばへ等であるのに朝鮮では

●これと反對 にいへばへ、が一割で他の九割方はくろばへきんばへ等が占めるといつた丈けでは何んでもないけれども此の家蠅以外の蠅はみな園と室內を交通する奴で

●危險此の上 もなき蠅である、退治!!蠅退治、朝鮮にある人々は是非共この恐るべき大敵を驅除せなければならぬ(つゞく)

●校庭の古木火を吐く
九日午後三時半頃京城貞洞私立培材學堂の校庭所在約六百年を經過した一本の立閣の中幹部空虛になりたる箇所より發火して燃え上りつゝあるを學生等が發見して卽時消止めたるが件の古木は以前にも燒けたることあり多分腐朽し居る部分に煙草の吸殼を落したるものありてその火が燃え移りたるものならんと

●三日間に春鯖百卅萬尾を漁獲す 慶南蔚山郡近海に於ける大漁
慶北迎日郡甘浦と慶南蔚山郡方魚津との中間なる漁場に於て去る三日に十萬尾、四日に六十萬尾、五日に六十萬尾の春鯖の大漁あり爲めに甘浦は大に景氣付き三日以來徹夜にて數百の日鮮人共鯖の鹽切に從事し夜間は海岸一帶は數百の點火を爲し目ざましき光景を呈せり五日の天候にて六日以後も大漁は尙ほ數日續くならんと云へるが目下甘浦に於て鯖一尾二錢の相場なるも此の上豐漁あらば一錢內外に下るならんと思はる因に本年は其筋の取締嚴重なる爲め爆藥使用の不正漁業者は甘浦附近に其の影を認めざる由

♣郊外へ ‖十日の[illegible]にて‖

●イルマ殺し眞犯人逮捕せらる
掲載禁止され居りし龜岡停蔵の妻イルマ殺しの眞犯人は去る七日捕縛されたる佐賀縣生れの田中德一(三十)と判明し同時に新聞掲載禁止を解禁したり(東京特電)

●十萬圓の資産家藥品を密賣す 阿片煙を隱匿して檢擧さる
江原道淮陽郡府內面邑內里居住廉弼珠(六〇)は十萬圓の資產あり高利貸を業とし男女六名の雇人あり副業として其の筋の許可を受けず大正元年舊九月より昨年舊十二月迄引續き自宅にて漢洋藥を取交せ不正衡器を使用して金昌奭外四十二名に五十一圓餘を密賣し尙阿片煙を藏匿したること發覺し淮陽憲兵分隊に檢擧せられ鐵原支廳にて罰金百圓笞六十の判決を受けしを不服とし京城覆審法院に控訴せり

●燒死者七十七名と判明す
長崎縣西彼杵郡神浦村浪花節假小屋燒失の爲め多數の死傷者を出せる事は既報の如くなるが燒死者の數は七十七名と判明せり(長崎特電)

●鋸で切破つて忍び込んだ賊
栃木縣上都賀郡足尾町生れの大工江川廣太郎(三一)は京城永樂町の鮮人宿に泊り込み三月三十一日午後一時頃黃金町三丁目古物商朴德浩方の板塀を釆り除き鋭利なる鋸を以て板戶を切り破りて忍び込み中古懐中時計十個外三點(三十九圓五十錢)を竊取し之れを携へて逃走中を巡廻中なりし本町警察署の巡査に捕へられ取調べの上檢事局へ送らる

●雪中に二個の屍體を發見す 大峯山にて行衛不明となりし中學生
大阪天王寺中學校二年生なる東區安土町帶地問屋龍村平藏倅平一(一六)及び植村嘉一郎(一六)兩名が去月二十八日大和國大峯山に登山せし儘行衛不明となりたる事は既報の如くなるが捜索の結果兩名共山中の雪に埋れて凍死せる事を發見し遺骸は十日大阪に持歸れり兩家にては悲歎に暮れ居れり(大阪特電)

●横濱の火災
十日早曉横濱市に火災あり全燒六十戶に達せり(東京特電)

●蔚山白骨事件
七年前慶尙南道蔚山に於て主人を殺し財產を横領せし所謂白骨事件(被害者坂本源吉の娘が神戶に於て加害者の家へ下女に住込み證據を探りて告訴し尙ほ其の後蔚山の六和川より父の白骨を發見して證據として提出せる劇的被告事件)被告人原籍愛知縣西加茂郡石野村字中金長坂七太郎は去二月十六日釜山地方法院に於て死刑の宣告を受けしも之に服せず大邱覆審法院へ控訴したる事既報の如くなるが去る九日午前十時より同法院に於て公判開廷、九山裁判長は辻判事、八木判事陪席、立河檢察官立會上檢事にして犯罪事實に就て審理の末被告辯護人佐々木辯護士(釜山)より證人として武田彌太郎有川俊之助兩名を召喚されたしと請求し裁判長は合議の上前記兩名中武田一名の喚問を許可し尙ほ職權を以て大西嘉之助を證人として喚問する旨を告げ午後四時閉廷したり次回の開廷期日は未定なり

●櫻も一圓 十日から値上げ
『酒なくて何んの己れが櫻かな』とばかり言つたのは昔の話、風流か不風流か知らないが近年の花見遊山には一瓢を携へるものより羅付の麥酒壜をブラ提げて行く者の方が多くなつた、麥酒の泡は花の蕾がふくらむにつれて吹き立つてくる、需要の多くなる花時を待つてキリン、サッポロ、カブトの各會社が九日から二圓の値上げをしたのは既報の通りだが恰かも形勢觀望の態度を執つてゐたやうに見ゆたサクラビールの鈴木商店京城出張所でも旅行中の横井麥酒部主任が九日夜歸店するを待つて十日朝同じく一函(四打入)につき二圓の値上げを發表して直ちに實施する事になつた

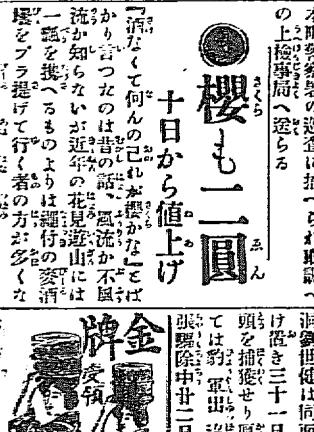
●狂犬四名を咬む
京城大和町一二丁目路上に於て七日午後四時より八日正午迄の間に一頭の狂犬現はれ佐野元三(六)横田三郎(四)太田清(七)鄭富順(四)の四名に咬傷を負はせて狂奔しつゝあるを本町署の警官が追跡して捕獲し獸醫檢診の結果正しく狂犬なること判明したるより卽時撲殺せり因みに件の犬は大和町一丁目木內千代吉方の飼犬なりしと被害者は何れも目下加療中

讀者文藝(一等には[illegible])
▽謎「優等生とかけて」
○總選擧と解く心は金策多忙(前途名望)(一等) 龍山 乃美
▲入道前關白太政大臣と解く心は[illegible] 京城 榮子
▲[illegible]と解く心は[illegible] 京城 静江
▲[illegible]と解く心は[illegible] 大田 村夫子
▲女官の正装と解く心は[illegible] 木浦 田山 敬

●鐵山事務員を恐喝
平南安州郡邑內七星里居住元魁新聞記者黑川政淸(三五)は二月七日价川郡三井鐵山事務所に行き同所主任梅四郎に對し同人の非行を紙上に摘發すべしと恐喝し廣告料名義にて金三十圓を提供せしめ二月二十六日は諸川公立普通學校教師宮部貞信をも同樣脅迫せんと廣告料を出さざれば紙上にて筆誅すべしと認めたる端書を郵送したること發覺し政淸は此程安州憲兵分隊に檢擧され取調べの上檢事局へ送られたり

●幼兒車に觸る
京城黃金町一丁目大村梅次郎二男英生(六つ)が七日午前十一時半頃路上にて輪を廻して遊び居れる折柄南陽郡恩平面佛光里の吳泰六(三七)が松丸太を積みたる牛車を牽き通り蒐り英生の輪が車轉の下に入りたれば同人之を拾はんとて牛車の兩輪の間に飛び込みたるより全身數箇所に擦過傷を負ひたる騷ぎに取敢へず澤田醫院に擔ぎ込み應急手當を加へし爲め餘病併發せざる限り二週間位にて全癒の見込みなりと

●釜山の火事
釜山府大新洞一丁目鉾板製造業松浦榮太郎方より八日午後九時五十分頃出火し同家二階建一棟建坪七坪五合を全燒し同十時三十分鎭火したるが出火の原因は臘燭にて火を起したる際殘火の始末惡しかりしため附近に飛散れる鉋屑に燃え付き大事に至りしものゝ如く同人の家屋及び同地面內に五軒の借家に對し火災保險一千圓を附し居たる由にて燒失の損害は家屋器具等にて五百圓なりと(釜山)



●平北の猛獸狩
平北にて絕えず猛獸驅除に勵行中なるが三月二十二日江界郡從南面成章洞の深山中に一頭の熊を發見したる院坪派遣所の憲兵が二發の命彈にて斃したるが體量二十八貫あり義州郡廣坪面廣洞劉世健は同面高麗里山中に罠を掛け置き三十一日體重十二貫の牡豹一頭を捕獲せり厚昌郡々內面富興洞にては豹、軍出沒甚しき爲め憲兵出張驅除中廿二日大豹一頭を射殺せり

●平壤店員運動會前景氣
第八回平壤店員運動會は期日の接近と共に漸次景氣付き七日夜七時より最終の運動會委員及び委員會を開き一切の準備を遺憾なく整ひたるが運動競技の參加申込は四百二十名にて昨年に比し約百名増加し各町有志の寄附金も七日迄に約千圓に達したりされば運動會は萬般の規模に於て自然擴張する事となり來賓招待の案內の如き昨年に比し約百餘名を増加せり運動競技は三十二種に渉りて參加延人員約千五百名にして昨年に比し約三百名の增加なるが有志の變裝競爭にも多數の申込あり何づれも變裝の趣向を凝し居れり(平壤)

●救世軍特別集會
十日(火曜)夜永樂町救世軍にては特別集會ありて萬國副總監書記官ミチェル少將朝鮮司令官ブレンチ大佐夫妻の告話あり

○本能寺(水原通)二日午前十一時より婦人會例會十三日午後七時より日蓮主義研究會演說會及び本門會を開き[illegible]の講話あり

●朝鮮飴賣を袋叩き 名古屋市中區門前町大須觀音境內へ[illegible](ヨセ)は午後六時頃歸宅したるに間も無く十名許りの仲間の者が亂入し有[illegible]事あり所轄門前町署にては急報に接し直に犯人の逮捕に努めたる結果同[illegible]

●連絡船上陸客 九日午前八[illegible]

[illegible]課題(海藻規定) 募集規程 ▲用紙は端書又は[illegible]

天氣 晴れ時々曇り

商況

債券現物特電 (東京)
十日川崎來電	
東洋拓殖	六三,五〇
京城電氣	六二,〇〇
朝鮮銀行	一七六,〇〇
朝鮮瓦斯	一一九,〇〇
南滿鐵道	一三八,五〇

公債直取引 (東京特電)
五分利特別	九六,五〇
甲號五分	九六,二〇

深川在米特電
十日現在高	
朝鮮米	二一八,三一四
內地米	[illegible]
計	一,六九八,五五九

東京期米特電
十日前場	五月限
寄付	一七,〇五
高値	一七,〇七
安値	一七,〇〇
止め	一七,〇六

大阪株式
九日後場	拂込	價格
宇治川水電	五〇,〇〇	[illegible]
京阪電鐵	五〇,〇〇	[illegible]
東洋紡績	五〇,〇〇	[illegible]
合同紡績	五〇,〇〇	[illegible]
鐘淵紡績	五〇,〇〇	[illegible]
同上新株	五〇,〇〇	[illegible]
東洋汽船	五〇,〇〇	[illegible]
大阪商船	五〇,〇〇	[illegible]
日本郵船	五〇,〇〇	[illegible]
同上新株	五〇,〇〇	[illegible]
臺灣製糖	五〇,〇〇	[illegible]
東京新株	五〇,〇〇	[illegible]
大阪株式	五〇,〇〇	[illegible]

大阪三品特電
九日後場	寄付	止め
四月限	一八八,八〇	一八九,一〇
五月限	一八六,〇〇	一八六,四〇
六月限	一八四,七〇	一八五,〇〇
七月限	一八四,四〇	一八四,七〇
八月限	一八四,二〇	一八四,二〇
九月限	一八四,五〇	一八四,四〇

大阪期米特電
十日前場	
當限寄付	一五,九九
中限寄付	一六,二五
先限寄付	一六,六七

止め

下關期米特電
十日前場	寄付	止め
當限	一五,三三	[illegible]
中限	一五,八〇	一六,〇〇
先限	一六,三六	[illegible]

雜報

●內地製粉漸騰
製粉は商狀頗る堅實にして漸騰の歩調を辿りつゝあり最近の相場は裁四五圓二圓四十錢と更に四五錢の昂騰を重ね久方振に活況を呈し來る爲め騰も共一因たる模樣なりとは米價も主として久しく案じられたる喰合問題の解決せられたる爲めにして外輪も案外順調にて出荷せられ居るのみならず斯く粉面の漸騰は無理を眺めて荷邊り居る地方筋は無理!難く需要期に向ひたる折柄とて自然手當を取急ぐより打算上一層騰貴を強めて一圓五十錢以下にては更に買應ぜざると共に會社側の建値に稍接寄せするの外なく五十錢の出現は程遠からざるが如しと

●滯貨三萬噸
局調査によれば內鮮連帶貨物荷數は約三萬噸に達したりと云ふ尤も之には託送貨物の申込數に因れる準なれば實際數量とは多少の相違あるべきも其內譯を示せば十二月一月中の申込にして未着の分本州行き一萬三千噸關門行き一萬一千餘噸此二者の中安東驛に屬するもの八千六百餘噸ありて二月三月中託送申込の分は本州行き四千二百餘噸九州行十四百餘噸釜山五千五百餘噸其他は溜積に散在する分千四百餘噸輸送中のものなりとして三月十九日の調査二萬七千餘噸なりしに比すれば約三千噸の增加にして本州行き輸送に全力を擧ぐるも三十

●千瓢氣高し 十七圓五十錢見當
本品は需要季節を迎へて氣配益々良好內地相場は前報後更に幾分騰貴せるより持品は上十八圓五十錢迄を止まりさうなり

京城正米
內地相場に比して上廻ぶり居れり

京城雜穀
地方高と地場賣物又多からず氣配は依然强含みの商狀なり
△大豆 漢江の出廻り尠なしこれ從來の高値に惚れて賣り急がざるためなるべし石八圓二十錢見當
△小豆 ザリ安赤大玉にて十圓五十錢見當
△麥 大麥は保合精麥は七圓九五錢

●刷子は氣丈
內地刷子は毛屑の藥品類騰貴のため昨今の製品は昨年夏期に比べて約二三割の高値を示し居れり[illegible]

●作業を中止
[illegible]工の不熟練原料蒐集の不便に因る作業困難を訴へつゝありしが[illegible]現在殆ど作業を中止し居れる狀態にて[illegible]

●染料腰弱し
染料は既に需用期を經過し此處荷動き次第に不向ひつゝあり氣配さしては依然原料の高底强しと雖も一時對峙へて强持せし舶來品も近來夫々幾分宛低落の兆を見せ[illegible]

●引弛め競爭的に相場
[illegible]

●元山乘り二十九圓 人氣は極めて軟弱
浦鹽物は前報相場の下落なきも賣行き不人氣にて[illegible]

●鰊は引續き軟弱
鰊は昨今元山より生鰊の商談あり浦鹽叉現在淸津を發して輸送途中にあるものゝ先貨亦々行はれつゝある際とて當地としては相當在荷停滯せる際なれば賣氣進まざるものゝ如し

●十錢見當下落 ●賣り拔け ●內地油値上の必要に迫られ
●石油の强弱
最近米國關係の改まりて米油は本國高を報じ且つ海上輸送の不便加はらんとするよりス社は値上げの必要に迫られ居れるも內地油は協定値の斷行に至らず[illegible]一般に約一十錢見當下落したれば强弱の氣配相牽制してス社も未だ値上げを行ひ得ざるが如く且つ夏期閑散の折柄とて當分は此儘に保合はん乎將た何時も此先き內地油の模樣次第にては何時また値上げあらむも知らず

●櫻麥酒愈々値上 一圓の値上 全鮮に亘り實行 花々しく活動
麥酒の三社協定値上げの事は昨報の通りにて同日は之に對するサクラの態度定まらざりし爲め市中販賣店の氣迷ひ甚しかりしが今朝は旅行中なりし同會社出張所主任の歸京と同時に市中の特約店を招集し値上げに關する協議をなしたる結果他の三會社と同じく一箱四打入に付一圓の値上げをなすことに決し直ちに同市に發表し全鮮に亘り之を實行することゝなれり今回の値上げに對しては特約店中種々異論ありたる模樣なるも遂に前記の如く決定せる以上は同會社の立場としては或る他の方法を以て花々しく活動を開始するに至るべしと

●一段の騰貴 品切れ 鍋釜類
●鑄物類移入難 製造休止の餘儀なき(餘日を要すべき見込なり)
原料の暴騰と拂底の影響を受け漸騰を續けつゝある鑄物類は此處頃更に[illegible]缺乏を訴へ內地製造者に於ては製造休止の餘儀なきに至りたる旨十日大阪より當地某店に入電ありたるが之れ畢竟原料高に比して製品の値上がり伴はず製造者に於ては寧ろ採算不引合ひにあるが爲めなるべし乖し內前記の事情にて今後當分移入の杜絶を免かれざると共に鍋釜類は一時品切れとなるやも測り難く相場も近く一段の騰貴を見るべき模樣なり

南大門の廻穀
△綠豆 需用少く五圓七十錢 十圓七十錢
△赤豆 依然强氣にて二十四圓七十錢見當
△白胡麻 産地高値なるに市中は下りて石十圓十錢となり輸入不引合なれざれ可成り在荷ありて兩々の賣れ口あり

仁川現物市場
天安玄米	一三五叺	全義大麥	四〇叺
烏山玄米	一二五叺	鳥山玄米	八〇叺
扶餘白米	一九八叺	新浦州黍	四叺
沙里院胡麻	二七叺	平澤大豆	二七叺
砂里院大麥	四三叺	郭山粟	二七叺
內地小麥	三〇九叺		

釜山穀物(九日)
△正米入津少なし 氣配は依然高人氣を唱へ居れり
△正米入津二千餘叺 氣配入津多きも賣物尠なく依然强人氣を唱へ居れり
△大豆入津少なし 氣配は稍强人氣を唱へ居れり

仁川米豆取引所仲買人 (日)仲買店 電話 二八二番 二八三番

△正米(保合) 本邦定期米は保合の商狀にして本朝前寄付も先七十三錢との入電あり今市場買込人は精米口の必要買及び地場筋よりの圓り物買値に輸出口よりの上品買あり一齊に買氣引立ちたる準とて米主も益强硬なるさは云へ外に買込み人なき折柄
△大豆 賣り物は餘り潤澤ならず本朝は汽船積よりの買氣きあり小口商內ありたるも相場は依然として手堅き保合なり
相場の成行に應じたれ共相場は堅らず保合の商狀にして午前中玄米三千餘俵の商內ありたり
總出來高三千〇二十三俵、玄米二千九百〇〇俵、大豆百二十三俵

生魚市場
京城魚市場 釜山統營麗水三千浦木浦及び群山地方より可成りの顯著ありメイサバは品薄にて殺先きに騰貴其他大抵值高なるも需用多し本日建值左の如し
タイ四二、サワラ一六、平目一六、アワビ四〇、小エビ一三、サヨリ二〇、チヌ一五、ニベ二二、アナゴ一六、メコ一三、サバ一三、コノシロ一六、メナゴ一四、白魚一三、甲イカ二六

釜山水産市場(九日)
一般市場の商况は大差なしさ雖も入津前日に比し幾分少數なりし爲め强氣配にて手仕舞な路せり
入船數百八十一隻(十ヅ目建)
△タイ二十六圓△大フカ六圓△小フカ四圓△アワビ五十五圓△ヒラメ九圓△サワラ十五圓△アナゴ七圓△メコ八圓△メバル七圓五十錢△ブリ十五圓△サバ十圓△雜魚六圓
水揚高三千三百九十五圓十二錢

仁川期米
▲十日前場 兵庫前寄十六圓三十九錢 東京十七錢〇五錢 大阪前寄十六圓六十七錢と同事の入電二節六十九錢との噂にて當地出來不申中十二圓八十五錢より二錢と押し三錢引先十三圓十錢と一錢高に寄付たるが買物多く一歩二十錢と騰げたるも戾りは又賣物多く大阪四節六十六錢と移りに賣物益多く十三錢さ押し五錢と返して保合四五錢を揉み合結局五錢さ保合の裡に小甘き成行を示して散會

三圓十九錢と寄付直に二十錢と進みたるも◎◎其他より買向ひたるも十三錢さ押し五錢と返して散會を告げたり市况は別段變る模樣なきも高値には目先利喰と新規の賣物あるに反し賣物薄く前日來の底堅き成行に反し小甘き場面を呈し結局保合に終つたが要するに押し目買の戾り賣さも言ふべくして保合相場の本領を發揮し居るに過ぎなかつた

▲前場の手振 重なる賣方◎各三千餘石◎二千餘石◎◎各千餘石等にて他は小口商內であつた
▲◎能く賣る 今前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたり
▲◎の商內 前場同店より買りたる玉數三千餘石に上りたりとの事 この事一面千餘石の買ありたるも注目を惹いたり
▲結局動かず 前日來底强き保合を持續し大阪のヤリ安を受けても利かず存外强硬の盤面なりしが今前場は十三圓十九錢より二十錢さ上伸したるも目先利喰の賣田ご戾り賣ら賣物多く一面高値は買方の見送りに終るより案外鈍狀を呈したり斯る成行にて結局不振保合に終りたるが要するに押目は又賣物薄にて未だ乘ずるの機會なきやに思はれたり併し正米界は依然强硬にて本日の如き玄米は脊月限渡し米の到着と田舍の買付品等一二千餘叺の入津あるも相の入津は依然[illegible]期米は目先小掬的利喰
▲保合岐れ如何 新補 六月限は既報せし如く我朝鮮に於ける大天災期の限月なるより多大なる趣味を以つて迎へられ十三圓〇九錢と發會し大阪高に連れて十三圓二十五錢の高値を闖出し爾來軟弱に陷り大阪の不勢に連れて〇二錢と低落したるが大阪は却て不勢を報じたるも地場正米の强硬に買氣を刺戟し今前場十三圓二十錢と逆跳ね返しなるが目先利喰賣多く十三錢さ押し五錢と散會を告げ此高低直市十三錢と切に過ぎず人氣は前記の如く六月限てふ大天災期に動搖を來さん形勢なりしも大阪の不勢地場正米の强硬さトンチンカンの材料に氣迷ひを生じ保合を持續し居るか此保合果して何れに分岐するなるか

市場零聞
▲依然保合ひ 天候晴 天今朝[illegible]大阪豐ならざるも昨夜來强硬の機先[illegible]

仁川海岸町三丁目 仁川米豆取引所仲買人
(利)森仲買店
電話店用 長九〇五番 六二五番 本宅電話 八三三番

▲十日前場 當限出來不申 中限(三十二圓八十五錢四錢平均五錢)[illegible] 先限(十三圓十五錢二十錢十九錢八[illegible])[illegible]

仁川米豆取引所 十日の六月限

前場	
寄付	十三圓十九錢
止め	十三圓十五錢
高値	十三圓二十錢
安値	十三圓十三錢
出來	一萬三千六百五十石

平均値段	
一節	十三圓二十錢
二節	十三圓十六錢
三節	十三圓十四錢
四節	十三圓十五錢
五節	十三圓十四錢

賣買取組高		前日と比較
四月限	二萬四千百九十五石	三安
五月限	二萬四千七百石	二高
六月限	一萬八千六百五十石	二安
九日後場	[illegible]	[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人
高田仲買店
●定期米賣買委託 電信略號表御一報次第御送附可申上候
●商金御注文は紹介を不要候
仁川海岸町三丁目 電信略號タヌ 振替三八一 電話長一〇〇 電話長一一九

…して…山へ…をたるがその中の重立たる一人なる中區西沖鄕町朝鮮人石橋長次郎…を聞き附けて仲裁に飛び込みたる同家の家守下駄商山崎健次郎を毆打し數箇所に傷を負はせて逃走せる者…の意根よりなるべく而して長次郎の傷は却々重く生命危篤なりと（大阪）

滿洲視察寫眞帖（八）

（哈爾賓埠頭區キタイスカヤ街　民政長官アフワン、ナシエフ氏）

女醫大繁昌
開業試驗合格者は年々多くなる

醫術開業試驗規則を廢止後本年始めて擧行せし第一回醫師試驗に應せし日本醫學專門學校及び女子醫學專門學校卒業生にて目出度合格せし者三十九名あり其內

▽三分の二　以上は女子にて男子の合格者十二名に對し女醫二十七名を出せり開業免狀を下附された女醫の趨勢に就いて內務省の野田醫務局長は語る『女醫は年毎に多くなるやうだがそれでも男醫に比較すると

▽約五分位　にしか當らぬ大正四年末の調べに據れば全國の男醫四萬三千八百十三人に對して女醫は三百三十六人甚だ少數なものであるさて女子が開業醫の免狀を受けると

▽直に開業　するか何うかと云ふに之れは一定したものではなく或は病院に勤務する者或は免狀を故鄕に土產とする者等も少くないから誰れも彼れも開業するものだとは言へぬ目下

▽東京府內　に開業してゐる女醫の總數は七十三人で之れに次いでは大阪の二十五人兵庫の十四人等が主なものである一體女醫は男醫と較べて何う云ふ特色があるかと云に

▽世間では　種々の議論もあるが自分一個の考へから云へば先づ免狀を受けた者の技術は男女共に等しいのであるから茲に生れるものは女子特有の繊美でなければならない例へば小兒科とか婦人科とか技術以外の

▽技巧を要　する醫科に適當だらうと思ふ然し男女の學校を比較すると男子の專門學校が十以上あるに反して女子の方は僅かに無試驗で通る醫女學校は僅かに一つしかないのだから女醫が男醫の一割に相當する事は

▽近い將來　に於いては未だ〳〵困難の事と言はねばなるまい今回の改正された開業醫試驗に合格した女醫は未だ一名も免狀を取りに來ないが三回も四回も受けて通つた人はさぞ喜んでゐる事だらう』（東京）

鳴雪翁の祝賀能で
二俳星のシテワキ

俳壇の耆宿內藤鳴雪翁の古稀祝賀能が來る十四日午後二時から靖國神社の能樂堂で催されるが、その番組の中に俳人高濱虛子氏のシテ、河東碧梧桐氏のワキの

◆自然居士が　出る、俳壇に覇を爭ふ二氏の能舞臺における取合せは見ものであらう、碧梧桐氏を上根岸の新宅に訪ねると、稽古舞臺を後にした靜かな一室に運句の筆を休めて語る『能をやることになつて、何か藝術的意義のあるものをと云ふので『自然居士』を選んだシテはおいて、今度自分の勤めるワキは昔から重いものとされてゐる一つでその型がチヤンと定つてゐる、でワキの中では

◆一番下品な　と云ふことになつてゐて演じ方を荒つぽくしなければならないが、無闇に荒つぽくやれば芝居になつて仕舞ふその概括的に荒つぽいと云ふのをその程度までに

◆演じ出すか　そこに演ずるものゝ苦心がある『自然居士』の筋はワキの人買ひが女の子を買つて行くのを、シテの自然居士と云ふ半僧半俗の人がその子を救ふと云ふので

◆作の骨子は　琵琶湖を渡るときの人買ひと自然居士の押問答にある自然居士は飽くまでもおとなしく取戻さうとする人買ひは渡すまいとする、そこに存する精神的の葛藤が存外よく出てゐる作である（東京）

△キャベヂ卷　キャベヂの葉を一枚づゝ破れぬやうにはぎとり煮たてた湯に一寸ひたして柔かにし別に挽肉に鹽胡椒を加へ…と…に刻んだ…玉子くらゐの大さに丸め柔かになつたキャベヂの葉に包み上から木綿糸で…適宜にまぜてスープ又は煮汁の中に入れ…煮たてゝから火を弱めて三十分間ほど煮ます…[illegible]

視察團員に御注意

編成

◆第一　全團員中より二名の代表的名士を選拔して團長、副團長に推し猶ほ全團員を數部に分ち一部を二十名宛とし更に一部を二班に分ち各部員の互選を以て部長班長を選定し終始主催幹部側との連絡を保持す

◆第二　主催兩社より視察團附として特派隨行す可き幹部員は左の如し

幹部　長一名　總務一名　接待兼通信二名　庶務兼會計一名　接待四名　接待兼寫眞一名（計十名）

猶ほ鮮鐵、滿鐵よりは各二名宛の特派員の隨行あり幹部員を援けて視察團の行動に些の遺憾なきを期せらる可し

會費

◆第一　南北滿洲視察團員一名の會費を金壹百圓とし入會希望者は原籍、現住、職業、氏名、年齡を明記し之れに會費全額を添へ主催京城日報兼毎日申報社經理部長蘇村忠助宛申込まれたし

◆第二　主催社は前記會費を以て二等往復汽車賃、宿泊料、晝食代辨當代及び團體行動にて各所視察中の馬車、電車、腕車等の費用一切を支辨す

◆第三　旅館滯在中又は途中に於ての酒、煙草又は其他の個人的特別注文は勿論團體を離れ任意の自由行動中の車馬賃、飲食等一切の費用は總て自辨たる事を承知ありたし

◆第四　四月十五日京城出發團體行動に移る迄と同廿九日京城歸著解散後の一切の費用は總て會員各位の自辨たる事を豫め承知ありたし

集合出發

◆第一　京城以南の會員諸君は四月十四日夜迄に必ず入京出發當日即四月十五日午前八時迄に南大門驛特別待合室に集合せらる可し

◆第二　京城以北の會員諸君は隨意各所在地の停車場より其驛長に視察團員たる事を屆出で四月十五日午前九時十分南大門驛發車北行の第一（列車番號）列車に增結せられたる滿洲視察團專用客車に乘込まる可し

◆第三　萬一出發時間に遲刻せられたる場合には團員の資格を失ふが如き事なしとも限られざれば豫じめ乘遲れ等の事なきを期せらる可し

服裝

◆第一　本視察團は各視察地に於て日支の官憲其他を訪問し又地方官民有志の歡迎會に列席する場合も屢次なれば見惜からざる相當の服裝あらん事を希望す

◆第二　旅行中なるが故是非共フロックコートを携帶するの必要なきも和服の內地人は羽織、袴朝鮮人は相當禮裝の準備ある可し

◆第三　各所視察の便宜上履物は成る可く靴を使用し帽子は是非共山高又は中折帽子を戴く事とせらる可し

◆第四　滿洲の四月末の陽氣は奉天以南は京城平壤等と格段の相違なきも長春、哈爾賓等は約半箇月間遲れ朝鮮の四月上旬位ひの陽氣なれば外套は薄手の物、洋服、襯衣、洋袴下等は多物と間物の二種を携帶せられたる方完全なる可し

携帶品

◆第一　携帶品は成る可く省略する事を本位とするも膝掛か毛布を一枚と寢衣は各自一枚宛準備せられたる方便利なる可し

◆第二　名刺は少くも各自百枚を持參成る可くは職名、住所を附記したるものと爲されたし其他の必要携帶品は

△金入△懷中時計△ハンカチーフ△手拭△鼻紙△齒磨楊子△齒磨粉△石鹼△櫛△ブラシ△空氣枕△防水手拭入△手帳△鉛筆△ナイフ△風呂敷等

◆第三　京城在住の團員諸君にして四月十四日正午迄に入京せられたる諸君は奉天迄の列車內に於て必要ならざる手荷物は一纏めにして十四日午後四時迄に本社に御携帶の上預け入れられたし

◆第四　旅行の本則として手廻りは個數を少く荷造りする事とし又各個に必ず一枚宛の名刺を嚴重に附せらる可し

主催　京城日報社　毎日申報社

演藝案內

浪花館　明治町　電話二六〇
△女傑吉田奈良女　大阪浪花節派
△廣澤虎春特別出演
旭風（奈良）須磨の浦風（大和）めぐまさい（三笑）御前試合（奈良長）楠大尉（虎雄）義清誠忠錄（虎春）雪の曙豐川利生記二席（奈良女）

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
△四月六日より提供する新寫眞
○△實寫『雪の狂木製造の實況』
△立花貞二郎一派出演
○新派悲劇『勇み肌』全三卷。[illegible]
△滑稽活劇『ガッスルと醫』全二卷四千呎
○軍事大活劇『第五十八快漢ロロー』
○舊劇『山中鹿之助』全四卷。[illegible]

壽館　京城壽町　電話一〇九〇三
御名殘御禮興行　京山愛子[illegible]一行
今回初目見得の同嬢は當館開館當日より毎夜大入大人氣を受けの為め本日より愈々內地へ引揚げる事と相成候間何卒御來場の程願上候
△入場料金二十錢均一
御聽物　備前[illegible]
朝顏日記宿屋の段　[illegible]　巴愛子

御成座　御成町　電話二一九一
△第七回番組
帝國之花　全十場
俳優連名　いろは（斷）伊井蓉峰、若月登、川上源太郎、小北時大、川上伴、上田鳥雄、山本一郎、矢野伸太郎、淺川一明、天野[illegible]、一三島兼之助、村川一志、日高秀子、佐藤日野[illegible]

有樂館　京城本町一丁目　早川演藝部直營
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
△四月十日より差替へ
△實寫伊太利の風景　△新派劇庄兵衛
△新派教訓劇孝女　全三卷
△軍事大活劇雪中戰　全三卷
△喜劇大岡政談
因果小僧と雲霧仁左衛門　實錄全八十五場の最大長尺

壽座　京城壽町　電話五七八番
曾我廼家蝶鳥會一行
△四月十日より第九回替り狂言
第一　無筆　一場
第二　命の安寶　二場
第三　親の罪　三場
第四　御免やす　一場
○愈十日限り千秋樂　△卅錢均一

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版、凸版、鉛版　最も熟練せる技術を以て迅速に可致候御註文を乞ふ
京城日報社寫眞製版部

商業登記公告
京城府旭町貳丁目
主人株式會社京城銀行ハ大正六年參月貳拾九日支配人弓場重榮ヲ解任シタリ
右大正六年四月六日登記

朝鮮銀行理事三島太郎ハ大正六年八月拾貳日其ノ住所ヲ京城府旭町貳丁目七拾貳番地ニ移轉シタリ
內國通運株式會社取締役加賀豐三郎ハ大正六年參月參拾壹日辭任シタリ
同會社ハ大正六年四月壹日攝津國神戶市海岸通七番ニ支店ヲ設置シタリ
右大正六年四月九日登記

京城地方法院

上京中の處本日歸院致し從前の通り診察に從事致候
二宮產科婦人科醫院
二宮亮吉

宇治茶直接販賣

御銘茶定價表（百目ニ付）
玉露製　一圓廿五錢
實の露　[illegible]
老の梅　[illegible]
桂の翠　[illegible]
寶の香　[illegible]
旭の葉　[illegible]
菊の露　[illegible]
鶴の松　[illegible]
相生　[illegible]
松の齡　[illegible]
正喜撰　[illegible]
玉露粉　[illegible]
家庭の御晃茶と來客の御接待に無くて叶はぬ風味宇治茶の誠實なる通信販賣にして安心の上續々御用命を乞ふ
◎御注文の品萬一不向の節は他品と御取換可申候
◎金壹圓以上は送料當方負擔
○一斤袋以上は[illegible]
○小包に限り[illegible]
製茶問屋　營業所　京都七條東洞院角
井上六平
製造本店　山城宇治乙譯　久世
販賣御望の方は御照會願度候

謹告
內ロース　百目に付　卅六錢
△ロース　同　卅錢
△上肉　同　廿五錢
△中肉　同　廿二錢
△並肉　同　二十錢
△豚肉　同　廿八錢
△鷄肉　同　四十錢（四十四錢）
今回原價騰貴に付同業者協議の上當分の內右之通改正致候間此段謹告仕候
大正六年四月十日
京城精肉商　同業者一同

印入專門　京城南大門通三丁目子屋前（京城魚市場前）
若宮染工場　電話二八五七番
件天

最新高等かぜねつ良劑　キナピリン
本舖　大阪市東區　高橋盛大堂藥房

質　京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北）
堀佐營業所　電話六三九番

守田寶丹
一番よくきく懷中良藥
是非御用意なさい！
花見遊山や旅行芝居など外出の御用意
家庭の衞生にもお迷ひなく……
△何となく氣分惡き時△頭痛眩暈△酒の醉△船車の醉△食傷水傷△吐瀉下痢△腹痛其他。を忘れず携帶し
いざ急病の手當にも一匙二匙服用せば寶丹の効能は直ぐ分かる
定價（拾錢、廿錢、卅錢、五十錢卅錢以上は便利なる寶丹匙を添ふ）
○各藥店にて取次す
○二十七番地及守田寶丹に御注意
寶丹本舖　守田治兵衞　東京下谷池ノ端仲町　振替東京二九八五番
起死回生　寶丹

實用英語夜學會新學期
!!!會員募集!!!
來る四月十日より毎晩開會日本人教師出席教授
會場事務所　旭町二丁目三九
日本メソヂスト教會構內
教授　藍岡潔方（電話二五六五番）

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六　東京パイン萬年筆出張所

株式會社　中村組鐵工部
鎭南浦　電話一六一番
差用船舶　汽機汽鑵製造並に修繕
鉛接瓦斯用　鐵、鋼、鑄鐵、黃銅鎔接並に修繕

學校用品荷揃　京城本町　シサキ文具店

謹啓時下春暖之候益々御清穆奉大賀候陳者弊檢番義以御蔭日增繁榮に赴き候段之れ偏に四方御客樣方の御同情御引立こ奉萬謝候就ては開業一週年記念の爲め當る四月十三、十四、十五日の三日間壽座に於て藝妓芝居開催仕候間何卒倍舊の御同情を以て賑々敷御觀覽の榮を賜り度偏に奉希上候　匆々頓首
大正六年四月
新檢番

優等清酒
福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話四〇三　振替口座四三九番

■南北滿洲視察團に必要なる旅行用具は高木にあり■
■毛布■靴■洋傘■ステツキ■魔法瓶其他旅行用具一切大勉強可仕候
京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

仁川銀行組合

貯蓄預金　元金百圓ニ付日步壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社　十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

內科小兒科
京城日出小學校前　多々見醫院　電話九四〇番
入院隨意

明君道中記

第百十一席 田邊南龍口演

川村鞍負は面色を變へて前に進み、「何受合ことはならんと申すか。新く相成つた以上受合はんと申して其儘に戻す譯には叶ん。強て承知をいたさんとあれば汝等一人殘す捨主に掲げること故左樣心得ろヤア〜一同此處へ」と大音に呼はると三方の蔭を切落し抜身の槍を持つてズラリと居並び、槍先を揃へてツカ〜と前へ進み來る、一同は驚いて「ヘイ〜何ういふ譯でか知りませんが甚麼ことでも出來ないことはございません何うか受合つておくんなさいまし、俺共も一生懸命になつて働きますから何うか其麼ことを云はずに受合ておくんなさい」と皆背くカつて慄て頼む、宅兵衛も無據「宅左樣なれば是非に及びません仰せの趣委細畏りました、然し今日は一同人を揃へる爲に罷出ましたるだけのこと、道具などは持參いたしませんによつて手前一人御城内に控へて居りまする事故他の一同の者を一旦お戻し下さる樣願ひまする「イヤ〜最早城内に入つた上は戻すことは相成らん、道具は此方にて悉く取揃へ又其方始め一統の者留守宅は不自由なき樣に萬事此方より手當をいたし遣はす故決して心配をいたすな、ソレ一同を普請小屋へ入れろ」といふので乃で平馬を始め川村の家來職人一統を普請小屋へ伴れて參り、嚴重に出來て居る處へ殘らず入れてしまひました、宅兵衛の了見では自分一人は仕方がない鞍負の手にかゝつて相果る覺悟だが、一同は助けやうと思つた處踏すことは出來ない、道具は此方で揃へると云はれて無據往事にかゝることに相成りました、愈々十一月上旬手斧始めとなつてサア一同普請をして居ても、其の中の與三郎は至つて親孝行者故母のことを心配いたし、目の見えない母親が急に歸ることが出來なければ其の通りに云つて來れば他人にも頼んで世話をもして貰ひ不自由もしまいが、親方に云はれて直に飛出して來たのでそんな手當をして來ない、嘸ぞ不自由をして居るだらうと母のことを心配為し植木藤右衛門の娘おいねと深き仲になつて居る故此のおいねのことも思ひながら仕事をして居ると十月からかゝつて翌年の三月に至つて悉皆普請出來をいたしました、其間毎日川村鞍負が日に何度となく巡つて來る、夜分は猶更一時々々に見廻りが來て其の度毎に職人一同を呼揚げる洵に嚴重でございますから、與三郎は次第によつたら忍び出して母の樣子を見て來やうと思つても却々それが出來ません、始終考へてばかり居りましたが、愈々與三郎が堪兼て茲に宇都宮の城内に梁御門と云ふ門がある、其の梁御門を守つて居りまするは野州切ての男で腕の喜三といふ者、仔細あつて人を害して何うしても助からない處を川村鞍負が、此の者は後日何事かに役立者とあつて萬事計つて命を助け梁門の門番を吩咐けて置いた、與三郎はフト是に心附いて、素より懇意にして居る喜三なるによつて此の人を頼んだなれば、と思つて居たが、樣子見始め一同に話しをして出る譯にも叶ず、見廻りは嚴しく何うも其機會がございません、朝夕時機を窺つて居りましたが、時に江戸表に於ては將軍家[illegible]永十年四月の十三日江戸御發足に相成り、其の夜岩槻に御泊り、翌十四日は古河に御泊りになつて十五日が宇都宮、十六日に日光へ御乘込み大樂院へ御泊りになつて十七日御社參といふ日取でございまする、最も御代代り始めての御社參でありますから其の騷ぎは一方でございません。

泌尿器科 皮膚科
外科一般 花柳病科
京城永樂町二丁目金光教會隣
院長 安部修三
安部醫院 電話四一九番

京城本町二丁目 前尾旅館前電話七四三番
內科 小兒科 胃腸科
京城醫院
岡山醫學士 鈴木茂

四月十二日 九星

△一白 [illegible] △二黑 [illegible] △三碧 [illegible] △四綠 [illegible] △五黃 [illegible] △六白 [illegible] △七赤 [illegible] △八白 [illegible] △九紫 [illegible]

板垣伯夫人主宰
會員募集
家庭料理講義
入會の好機 大特典有り 詳細は內容見本を見られよ 請求
經濟で滋養に富んで味の良い食事を望まば直ぐ役に立つ 本會

小便の病
小便に幾度となく行きたくなる病
小便した後こゝろ持ちあしき病
膀胱カタル尿道カタル尿道の痛み
小便ニゴリ又は膿や血の出る病
りん病しよかち
右病者は往復ハガキにて照會せられば最良藥を詳報す
○播磨加古川東 藤原悦

周易
明治町二丁目 介石堂
岡村介石

身を亡し子孫を亡ぼす
家を亡し國を亡ぼす
恐るべき梅毒
梅毒胎毒横根疳瘡リヨーマチス發生の時期なり
この病毒より來る病毒は毒菌を破すると共に安全に体内より除すべき靈藥により其目的を達す
現今の梅毒藥 中胃腸其他の副作用を起さず此兩特効を併有するは梅毒專門藥唯一丸なり百藥無効なき方は速に此良藥により不[illegible]を去られよ
三日分四十錢 一週間九十錢 二週間一圓五十錢 一ヶ月三圓 持製九圓十三圓
◎全國有名藥店にて販賣せり(品切の時は直接御注文を乞ふ)
其病理養生法を親切に詳述したる冊子を無代進呈す 送料四錢を要す
東京市牛込區神樂坂上 發賣元 中西藥局 振替東京 中西莊[illegible]
新藥 梅毒 唯一丸

痔核。痔瘻。脫肛。痔裂。痔出血。直腸脫
本田醫院附属
京城肛門療院
肛門病の話 附痔疾持理注射根治療法説明書入用の方は郵券十二錢を要す

內科、眼科、小兒科
本田醫院
院長 本田健[illegible]
京城黃金町三丁目 電話二四四三番 振替京城三二八番

西洋料理、雷氣すき燒、ハイカラ丼
カフエータイガー
電話二五七一番

アナタの胃病には
強胃消化錠
八木田醫學博士處方
マーゲンシ
島田藥學博士鑑査

ルーデサック 特製品
A 十個四十錢 B 十個六十錢
廿五錢 女用一個八十錢 廿個以上
引郵券代用一割増 外に要送料 總べて前金の事
振替京城三二七番
京城黃金町三 山田文殊堂藥房

京城日報 第三版
四月十一日（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

米國の參戰

京城日報

北米合衆國政府は、過般既に獨逸に對して宣戰を布告せり。之に續くものは實戰たらざるべからず、此度政府及び國會共に、米獨間に交戰狀態確定せりと爲し、其戰爭準備を整ひ及び協商國側と、共和一致の步調を取るに至れるは、固より其當然の事たり。

北米合衆國にして、獨逸を敵として戰を開くは、則ち我日本及び英佛露伊の爲めに、新たなる味方を加ふるものに外ならずして、吾人の地位としては、最も喜ぶべき事なり。特に近頃、日米間の親善を加ふるものある折柄、其軍事上に於て、兩國共同目的を一にする所あるは、益々其親善關係を厚くする所以にして、米國民亦。これに由りて一層、日本と相提携するの必要を理會すべきなり。

米國は獨逸に對して、如何なる作戰計畫を取るべきか、何分にも今日は猶說時代にて。大統領は言ふまでもなく、元老院衆議院の議員交々、心行くまで其雄辯を揮つて、氣勢を揚りたる後ならでは、具體的の經畫に立ち入る能はざるべし、併しながら米國の地位より見るときは、其陸軍を佛蘭西白耳義戰線、又は露國東歐羅巴戰線に致す能はざるや論なく、只其海軍を以て、獨逸の封鎖計畫を打破し、其共同戰鬪者たる、英吉利及び佛露伊諸國の爲めに、軍資軍需品を供給して、其作戰を援助するを以て、其最上策且最急務と爲すべきのみ。

軍資を云はゞ、今日協商國側の最も急とするところは、其軍資及び軍需品なり、露西亞の狀態は今あらためて言ふまでもなし、佛蘭西、伊太利共に財政經濟上の困難日に甚だしきものあり、其を補助し、援護するものは英吉利なれども、英吉利とても今後に軍事の爲めに、四百億圓を費すのみならず、米國其他に對する支拂の甚だ鉅大なるあり、米國に於て、大に公債を發行するにあらざれば、長く現狀を維持する能はざることは多言を要せず、此時に當りて、北米合衆國民擧國一致して、戰爭に參加し來るは、是れ實に旱時の雨にして、協商諸國の耐戰力はこれが爲めに幾倍せりと云ふを妨げず、熟ら歐洲戰局に就て之を見るに、其戰線は餘りに廣大、其形勢は餘りに錯綜、到底一方面に於ける一決戰を以て、其勝敗を定むる能はず、則ち、結局は敵味方共に其耐戰力を相較するに止まるべく、其の能く久しきに耐ふるものは、則ち、最後の勝利を制すべきなり、最近の情形を案ずるに、獨逸は荐りに西部戰線の撤退を圖る、是れ其戰線を縮小し、其兵員及び經費を節約して、以て持久の計を求むるものに外ならずして、彼自ら決戰を避け、他方には潜航艇襲擊に依りて、英吉利及び協商國の交通を妨害し、其耐戰力を殺がむとす、其謀略亦深刻なりと謂ふべきなり、然るに此時に當りて、北米合衆國の起ちて協商國の耐戰力を助くるあり、協商國は、則ち、持久戰に於て必勝の形を判するものたり。

極東の交通機關

（二）

黑龍江流域

黑龍流域を論ずるに當り注意すべきは黑龍江の世界的大河たること是なり黑龍江流域總面積一、七三一、一三八平方露里、流域の全延長三〇、〇〇〇露里、筏航に適する二二、六八四露里舟航に適する一、七二四六露里、筏航に適せざる八、三〇五露里とす、近時黑龍流域中既に舟の往來するもの其延長一〇、〇〇〇露里に達す、黑龍流域に於ける冬季は乾燥すれど夏季水量多く黑龍諸流の航運は幸ひにも上流遠隔地に迄るべき貨物の運搬に便なり

黑龍流域の氣候と水量は江河の水深に重大なる關係を有す多季は夏季に比し水面低きも其下流に至り水量益々高きを加へハバロフスク市附近の如き夏冬の差最も甚し。

黑龍流域航運上注意すべきは一年二回卽ち五月八日の增水之れなり而して此際に於ける諸船は必しも河中の淺洲を通過し得べきにあらざれど若し此の時期を善用せば難所の舟航敢て困難ならざるが如し而て增水は下流に至りて益々甚しく秋季を殊に然りとす黑龍流域の汎濫は時期に依り意外の大害を爲す事あり例へば千八百九十六年後バイカル鐵路を襲ひ千八百九十五年秋ブラゴヱシチンスク市中に小舟を浮ぶる慘狀を呈し千九百十一年春ジャリンダ市に流氷停滯水量七呎の高きを示したるが如き是なり

黑龍流域の流水速度は黑龍江に於て十露里支流に於て（ボドセノフスキー淺洲）十七乃至二十二露里而してソレムシ及びフレキ兩河に於ては汽船航行の便を圖り閘門を造り水流の速度を加減す

黑龍江上の氷塊は其厚〇、四〇—〇、〇六サージエンに達し流出するや其速度極めて早く流水時の江面の光景極めて慘憺たるものあれど流氷期の終期に至れば氷片漸く薄く自ら破壞し而して河水は忽ち激增し又數日後にあらざれば減水せず（ブロゴウエシチンスク市附近最も甚し）此邊冬籠りの汽船は其增水に乘じ直ちに河の中流へ脫出す蓋し此機を逸すれば尙ほ又數日間河水の增加を待たざるを得ざればなり黑龍江航行期間は次の如し卽ちスレーテンスク市航より終航迄百五十八日以上百八十五日以下（平均百七十四日）ブラゴヱシチンスク市百六十日以上百八十五日以下（平均百七十二日）ニコラヰフスク市百五十三日以上百九十一日以下（平均百六十七日）

黑龍流域の地理的關係は前記の如し然れども航行業者の最も困難を感ずるは航路期の短期なるよりも寧ろ河中の淺洲にしてシルカ河の如き百〇二個の淺洲を備へ水深僅かに三呎半にして然かも其內五十七個所は水深三呎以下二個所は一呎半を算するに過ぎざるなり但しジャリンダ（レキノウオ）より上流を浚渫するに於ては常は四呎半の水深を保ち以て貨物の運輸を容易ならしむることを得

有望なる甜菜栽培業

甜菜栽培と朝鮮の地質…甜菜は病菌に感染し易い…獨逸の甜菜栽培事業…日本人は其の栽培に適當す

總督府囑託理學博士 三宅驥一氏談

◇**朝鮮の甜菜製糖** も愈々近く實現せらるゝ事となつたが朝鮮の爲めに甚だ慶賀に堪へぬ次第である予は三四年前より屢々甜菜栽植を總督に進言した事が有つた又製糖會社創立の企ても有つたが遂に許可せられなかつた實は三四年前に創業して居つたならば戰亂の好影響で今頃は莫大なる利益を收め得られた事で有ろうと及ばぬ事ではあるが誠に朝鮮の爲めに遺憾に堪へぬ蓋し砂糖は昨年以來砂糖の騰貴の爲めに未曾有の好況を呈して居る朝鮮の甜菜業も三四年は遲れたであつたが

◇**將來は却々有望** なる事業であるから其の創業は朝鮮の產業上大いに悅ぶべき事である朝鮮の地質が甜菜の栽培に適して居る事は研究の結果明かに成つて居る而しながら優良なる甜菜卽ち糖分をより多く含有して居る甜菜を栽培する事は比較的手數を要し破究を要する事であるから事業に着手する前に於ては病理及び豫防法の研究優良種の選擇は云ふまでもなく含有糖分の增進栽培法等も充分に究明した上で取掛らなければならぬ從來日本の事業家は充分の調査を遂げずに直ちに事業に着手すると云ふ樣な通弊が有つたが爲め事業の中途にして

◇**思はぬ障碍に** 出會し一頓挫を來したと云ふ如うな例は澤山ある殊に甜菜の栽培の如きは東洋に於ては全く無經驗の事業であるから此點に就て充分に調査が必要であらうと思ふ其の上甜菜は頗る病菌に感染し易いものであるから此の邊の注意が緊要である最も當業者の方では其過如才無く既に充分の成案を持つて居る事と思はれる且つ總督府の水原勸業模範場に於ても數年來試作して居るから此の邊の事情には精通して居る事と思はれる又

◇**南滿鐵道會社** でも今年から甜菜の栽培を行ふ筈である朝鮮及び滿洲の甜菜は四月中旬迄に播種するとの事であるが獨逸では多く五月上旬に播種して九月收穫する事に成つて居る甜菜は最初獨逸人が墺太利南部地方で發見したもので其頃は二パーセント乃至三パーセントの糖分を含有して居るに過ぎなかつたが其後漸次改良せられ今では二十パーセント以上の含糖分の甜菜を作り出す事が能きる而しながら甜菜は動もすれば含有糖分一、二パーセントと云ふやうな

◇**原種牧草時代** に逆り度がつて居るから絕えず改良を加へて居らなければ成らぬ獨逸では優良種を益々改良發達させて居る獨逸には甜菜の種子ばかり產出せしめる大會社が建つて居る戰爭前迄は英米露の各國共皆な種子を獨逸から仰いで居る米國のテキサスなどの甜菜栽培は多く日本人がやつて居る甜菜は播種後の手入れ及び幼芽の間引其他細かな手入が必要である故

◇**手先の不器用** なそうして腰を曲げる事の下手な外人よりも遙かに日本人が其の栽培には適して居る猶甜菜の葉及根の砂糖粕は牛、豕等の飼料に適して居る故に甜菜製糖業は畜產業の興起を伴ふ事になる

財界私言

大阪支局 近畿探題

◆支那關稅改正は我輸出綿糸布に對しては支那市場の閉鎖に等しく本邦綿糸布は多年努力の末印度綿糸及び米國綿布を驅逐し漸く獲得したる現在の販路をも支那製品のため撹亂さるゝに至るべし

◆對支輸出綿糸布の減退は延て內地に於ける需給の均衡を紊し製產制限を敢てするに至らしむべく爲めに固定資本の死藏多數勞働者の失職等斯業の悲運を誘致すべし

◆工業經營の目的は單に資本收益のみにあらず他方に經濟的利源を供し其の繁榮を進めて國運の興隆に資するにあり關稅改正の結果其の業を支那に移すに於ては工業經營の趣旨は其の大半を沒却し我對支商工業は根抵より覆へるべきなり

◆現時我紡織業の利潤は時局の好影響に因るもの多しと雖も抑も亦多年慘憺たる苦楚を嘗め恒に困迫の間に經營したる經驗の賚に他ならず然るに關稅改正されんか其の結果は必らず著しく利益を減殺せらるゝを免れず故に一朝改修に接せんか是等對支輸出を目的として目下計畫建設中に屬する增錘一百萬錘は至大なる影響をうけ事業竟に頓挫せん

◆對支貿易上に於ける我國の關係は精巧品を供給する歐米列國と其の趣を異にし我國紡織業は太糸太物を主要の製品となし支那唯一の銷貨地となすを以て同國關稅改正の影響を最も痛切に感受するのは獨り我國にして列國とは自然其の利害を異にす故に改修の一事列國と步調を共にする要なし

◆關稅改正の結果我輸出綿糸布に對する支那輸入稅及び附加稅の增課は少くとも三百萬圓に達すべし

◆我が綿糸布の生產費は財政上の壓迫と物價騰貴のため逐年增大し支那糸との競爭に於て恒に困難を感ずる所然るに關稅改正の爲め製產制限を免れずとせば更に生產費を增し競爭の餘地いよ〳〵壓まり敗者の地位に立たざるを得ざるに至るべし

◆往年我國關稅率改訂に際し英國に於ける紡織業及び商業會議所が其の引上に反對し假令日英同盟の破棄を見るも焉んぞ肯諾を與ふべけんやと絕叫したるは當時世に傳へられたる所英國が自國紡織業の休戚を以て通商政策の尺準となし其の販路を擁護して苟くも遺憾なきを期する所以に至れり來我國工業の巨擘たる紡織業は夫れ將に何れの處に措かんとするや其の休戚は實に國家の休戚ならざるべからざる也

蠡湖零話

女の市長

山縣生

女天下の米國では今や女の市長を有するに至つた。此名譽を有する市はオレゴン州のウマチラ市で、市長になつた婦人はスターチャー夫人といひ、而も其夫と選擧を競爭して勝つたのである。夫人は就任後間もなく市長振を發揮して市役所の大掃除を命じ、且つ市の街燈費を增額して夜間市街を明かるくする事にしたさうである。淸潔と光明は何よりも結構、朝鮮の或都會には是非此やうな婦人の府尹が欲しいやうな氣がする

日報詩壇

○春寒　村上　石城
風力透肌霜滿溪。奔寒恰是若三冬。隣心不耐梅消息。欲訪猶慵曳竹筇。
評曰　春寒實况

○花下逢友（限韻）　成田　魯石
花下相逢笑拍肩。一瓢話到十餘年。新詩句忘斜日。不似喧鶯倦欲眠。
評曰　句忘花斜日、花下逢舊友、兄於春風忘老時乎、何等快事、

○春日偶成　西村　秋湖
溪梅處處吐淸香。一路軟風春草芳。兒戲遷喬鶯語。笑君日夕轉倉皇。
評曰　前半叙景極麗

○謝贈梅花　限部　矢山
謝君驛使遙贈一枝春。玉竹堅凌雪。星冠緣絕塵。昨臨淸淺水。今作苦吟身。綽約迎明月。恍看姑射神。
評曰　細意鈎剔、不入纖巧、詩品與花品高潔

○紀元節恭賦　留山　牧雲
瑞雪埋塵十萬家。紀元令節忽開花。春風搖曳旭旗影。瞻仰恩光無等涯。
評曰　雅見典雅堂象

○春日偶成　阪上　怡菴
六年屢指客京城。又恙春風故園情。芳草如烟鶯語老。綠楊院落落花輕。
評曰　冷艷情景動人

○燈下水仙（限韻）　望月　桂軒
翠葉黃花香比蘭。水中仙影逼人寒。無言恬澹吾憐汝。秉燭床頭仔細看。
評曰　句句淸寒、遠避俗熱

○雞林同人會第九回詠草（二）　井上通泰先生點

高麗の世の宮所のあさになく鳩の聲たどく〳〵し朧夜の月　松田　甲

からの野の新ばり村に家ゐして都をぞ思ふ春の夜の月　佐々木　信一

桃畑の花のさかりは春の夜の月の影さへ紅にして

黃鳥のひれもすなきし我庭の梅の梢にかゝる月かな

▲目先小相場乎 大阪の一向變動なく保合を報じ居るより當地も前場の十三圓二十錢を十錢押しと見せた

▲現物界 地廻安來十二圓三十二錢五厘白川安奎十二圓五十二錢等にて千八九百叺出來たり

後場 出來高 一萬二千三百石

朝鮮總督府御編纂
大正六年一月現在
朝鮮總督府及所屬官署職員錄
●定價金五拾五錢 ▲送料金十錢

大正六年最近
朝鮮事情要覽
●定價金六拾五錢 ▲送料金六錢

大正六年一月現在
鑛區一覽
●定價金四拾錢 ▲送料金六錢

大賣捌 京城本町 大阪屋號書店 振替京城二五七三番

陸軍並に諸官衙拂下品多數有之御用命願上候
拂下品 靴、靴下。袴下 手套 其他各種
京城府漢江通 電話長三三六 佐藤古着店

農科大學長農學博士 古在由直序文
農事試驗場技師 齊藤萬吉校閱
農學士 足立丈次郎監修
松本農場主 松本恒吉著作
所有土地臺帳
最新刊 製本クロース堅美一冊百筆分 定價金壹圓 送料金八錢
土地は國家の礎にして農家の寶庫なれば最も尊重すべきものなれ共經濟思想に乏しき我農家に於ては所有土地の臺帳を備へざるもの多し此臺帳は多年の必要に迫られて工夫に工夫を凝らして漸く完成したるものにて直に所有土地を記入し得らるべく尙土地所有者としての諸種の心得を附錄とし且一家の重寶たるを以て頗る堅美に製本したる者也

乾新刊
小作臺帳
一冊百口六箇年使用分 定價金六拾錢 送料金八錢
地主は皆小作臺帳を備へ置くべしと雖も未だ記入に便利にして完全なる小作臺帳の立案せられざるは最も遺憾とせる所なり此臺帳は多年研究の結果改良に改良して考案せるものなり小作料制定の諸要素及び契約事項其他納入關係を一見明瞭ならしめ尙又小作料の取立小作人の保證奬勵等に對する必要なる諸心得を附錄と爲したり。
發行所 東京市麴町區平河町五丁目 振替口座東京二一〇九一四番 洛陽堂（目錄往復葉書進呈）

鑛山用測量諸器械 京城本町 シノサキ

會長 東京帝國文科大學教授 從四位勳三等 文學博士 服部宇之吉先生
大日本漢文學會
速かに會則を見よ
無代進呈 電話又は葉書にて申込次第
（一）本會は漢文學の研究と國民精神の涵養を目的とし服部博士主唱の下に現代一流の大家を糾合して成れる者也
（二）本會は毎月一回講義錄を發行して會員に頒布し且つ有益多趣味なる文學雜誌『新天地』を發行し會員に限り無代進呈す
（三）本會講義錄は東京帝國大學支那哲文學研究室に關係ある諸先生合議の上執筆編纂せらるゝものにして斯界の權威なり
（四）本會は會長の初め講師諸先生親しく會員の質疑に答へ詩文を添削し名譽賛助員諸先生は毎號必ず訓話を執筆せらる
（五）本會講義錄は解題、訓讀、字義、大意、講義、餘論の六項に分け說明懇切如何なる初學者と雖も容易に斯學の精髓を學び得
（六）本會講義錄は毎號三百頁以上の大冊子にして併も會費の低額なるは斯界の新事例也羊頭狗肉の類か兎に角見本を見よ
第八回 新學期開講懸賞大募集 獎學金七百五十圓 總人員一千人
東京神田西小川町二ノ三 大日本漢文學會 電話本局三七八〇番

朝鮮總督府
一石炭（切込）八百五拾噸
右賣拂ス詳細ハ四月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

勸業貯蓄債券賣買
暴騰せる今日申込料や手數料いらず割增金當籤樂しみある債券獨特販賣
九拾圓 紙賣は毎月金貳圓五拾錢宛御拂込
京城長谷川町 無限責任 甲子合資會社 朝鮮代理店 振替京城四四四一番

京日案內
▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部
普通 一回前金一圓 番外 一回前金一圓

犬猫に豫て豫防注射を施し置けば狂犬病に罹らず○犬猫牛馬出張診療 京城府狂犬病豫防注射所 945
京城第一、オイシイ一の家ノいなりずし 旭町一 の家 946
●賣未墾地 龍山桃山附近別莊果園向四千餘坪（姓名在社） 944
●賣芝もあり 797
●自轉車月賦販賣に應ず 京城黃金町二丁目角 イバラキ商店 電二九二七
●融通 月收の御方へ極秘迅速簡易 京城 大和町三の三二（柄澤前） 起本屋 790
●古本熱心高價買入 ●御報參上 ●是非御試賣を乞ふ ▲本町二 ▲電話二四八四番へ ▲書肆群書堂 792
●貸屋 會社商店事務所向間口四間奥行三間同二階月十五圓南大門側目抜場所御用の方は電話一一八八へ
●店員入用 十七八より廿歲迄の者至急雇入る希望者は來談あれ 龍山漢江通電話四五五龍山堂書店 938
金石商會技術部 京城鍾路二丁目九九番地 ▲鑛物分析及鑛山測量▼ 電話一八九九番 942
かし家 漢陽公園入口にして風景至極宜敷座敷七間家賃一ヶ月三十五圓 旭町一丁目 白水 電一七三九一四 943
恩給年金長期郎時立替 西村商會 京城若草町通中央郵便ポスト前入 支店京城永樂町一商品陳列館前 勸業債券高價買受 電話三〇一一番 905
京城春川間 合乘自働車 賃金片道四圓 ●京城發前八時 京城水標橋通り 電話二一三八番 ●春川發前八時 京春自働車商會 支配人 松田壽男 761

◎米墺國交斷絕

九日華盛頓來電に曰く墺匈國は米國との外交關係を斷絕せり(東京特電)

◎墺大使旅券交附請求

華盛頓來電＝墺匈國代理大使は米國政府に對し旅券交附を請求せり(華盛頓電報)

◎米國海軍の動員實施

米國海軍卿ダニエル氏は七日午前海軍の動員を實施したるが右終了迄には二、三週間を要するを以て出動準備の完成するは近くも本月下旬ならん＝其筋著電＝(倫敦電報)

◎在米墺國諸船舶押收

米國官憲は米國諸港にある墺國汽船マラナ、ワシントン、ヒマラヤ其の他の諸船舶を押收せり(華盛頓電報)

◎伍外交總長留任決定

既報の如く外交總長伍廷芳氏は再三辭表を提出したるが今回米獨交戰狀態に入り支那も勢ひ其の態度を決定せざる可らず外政上形勢重大を告げ來りたるより從つて伍氏も到底其の責任を離るゝ能はざる地位にあり終に留任に決定したり而して此の留任を見るに至りたるは段總理との妥協整ひ伍氏も亦宣戰に贊成せる結果なり＝某所著電＝(北京特電)

◎英飛行機と海軍の活躍 獨逸驅逐艦一隻擊沈

英國海軍省の發表する所に曰く英陸海軍飛行機は七日夜ジーブルッチの突堤に爆彈襲擊を加へ海陸飛行機はチント、ブルッチの彈藥庫を攻擊し各飛行機は悉く無事に歸還したり同機のジーブルッヂ沖に於て我軍艦は敵の驅逐艦二隻に水雷を發射し一隻を擊沈したるが他の一隻の運命は如何なりしか明ならず非常なる損害を與へたるは確なり我軍艦には死傷者なし(倫敦電報)

◎露英兩軍の接觸

四月七日露軍はキジルラバットの附近にて英軍と接觸せり(露都電報)

◎英軍敵戰線を突破す

英國公報に曰く英軍はアラス及びランスに於ける獨軍戰線を突破したり(倫敦電報)

◎島津邸へ行幸啓

故鹿兒島藩主公爵島津忠重氏の新邸は數年前より東京府下大崎袖ケ崎に新築中なりしが愈々今回落成を告げたり右落成に就き　聖上、皇后兩陛下には近く行幸啓遊ばさる可く同公爵邸にては之を無上の光榮とし目下夫れ〳〵內部の裝飾其他に就き準備中なるが　今上陛下御踐祚後臣下の邸に行幸啓あらせらるゝは實に今回を以て嚆矢とす(東京特電)

□昭憲皇太后 三年御式祭

十一日は昭憲皇太后の三年式祭當日故宮中皇靈殿及び伏見桃山東御陵に於ては其々嚴なる御祭典を執行せらる(東京特電)

◎臨時派遣隊引揚

鄭家屯事件解決と共に同事件當時臨時に派遣されたる鄭家屯の一個大隊三江口の一個小隊、曲家店、太平庄の一個小隊八面城の一個中隊及び各地分駐の憲兵は十四日迄に全部引揚ぐる筈にて目下準備中なり撤兵後該方面の邦人發展に一頓挫を來すべしとの說あるも差したる影響なからん(大連特電)

◎獨領事館員 寄港

獨逸領事、館員並に妻女一行總計四十七名は吳淞よりゲンテル號にて桑港に向ふ途次九日上海に寄港せり(上海特電)

◎支銀支店再開

廣東來電＝支那銀行上海支店は四月十日を以て業務再開の旨發表したるが證券償却は充分なる資金調ふ迄實行せずと(上海特電)

◎出淵書記官歸鮮

出淵北京公使館書記官は九日青島より大連着十日旅順に赴き十一日同地に滯在視察の上奧地に向ひ夫れより鮮滿山陽路の途に就く筈也(大連特電)

◎總督平壤到著

長谷川總督一行は十日午後六時二十分平壤著停車場には官民軍隊學校生徒新聞記者等多數の出迎へあり總督は自動車にて[illegible]旅館に入れり(平壤特電)

◎冬漁試驗調査 (前承)

西海岸の鎭南浦及び白鷺漁業漁場は常に滿洲地方に與起する高氣壓の影響を受け北西位の寒風激烈なるを以て出漁日數減少を來すは數の免れざる處なり殊に本年は近來甚しく且つ寒風多かりしより作業困難を感せしに拘らず本試驗に於て鰆五千三百五尾、白鯨七百二十二尾の漁獲を見此の賣却單位鰆は京城に於て一連(十尾)五十錢、群山に於て三十錢、於青島に於て二十五錢に當り白鯨は大一連三圓より小一圓、平均一圓五十錢に相當し賣揚總高三百圓以上に達せるのみならず漁場の位置及其の移轉狀態を知得して以て斯業に至大の效果を與へ得たるは極めて良成績なりといふを防げざる可し要之從來休漁期に於て在來の鯛延繩漁業に適らざる成績を擧げ且つ將來の見込確立せるは斯業上一新開地の基礎を爲したるものにして試驗の目的略貫徹せるが如し然れども更らに一歩を進めて之を案ずるに前途の大成を期するには尙ほ多大の勞力を要するものあり之が方法に就ては實施の結果に俟つ可きも茲に在來作業に於て今回の經驗に依り發見されたる有利の方法二三を紹介せんに每年十二月より一月下旬迄では

▲於青島の西北 六十哩以上に位置する第一漁場最も多獲あり夫れより漸次水溫上昇するに從ひ四十哩內外なる第二漁場に移轉し來り三月中旬より下旬に至れば三十哩內外の第三漁場附近に於て漁獲あり而して漁船は凡て肩巾八尺以上なる可く近は冬季の荒天に對し作業する場合航海能力少き小船にては危險の大なると一方漁場は比較的遠隔せる等に依り成る可く積載力多き大型船を必要とす、又漁具は幹繩を太くし

▲一鉢分四百尋 の重量四百二十三匁乃至四百五十匁位のものを用ひ枝繩は約三尋に付き一尾を結び付け長さ約一尋矢引とす可し、鈎釣は今季使用せるものは丸型のみなりしも以て丸角何れの型を可とすべきか斷定し難きも出來得れば鯛の如く市場に上す迄活養するの必要なく假令鈎が胃中に懸るも妨げなきを以て角型を使用する方寧ろ有利なる可し

◎三月中の朝鮮貿易

貿易總額一千三百三萬餘圓＝一月以降の累計三千四百萬圓＝輸移出超過三百萬餘圓

▲三月貿易額 三月の貿易額は輸移出品價五百九十三萬六千餘圓輸移入品價七百十萬一千餘圓合計一千三百三萬八千餘圓にして前年同月に比し輸移出に於て二百四萬圓輸移入に於て百二十四萬七千餘圓合計三百二十八萬七千餘圓を各增加せり

▲累計貿易額 而して一月以降累計額は輸移出一千七百萬六千餘圓輸移入一千六百九十八萬一千餘圓合計三千三百九十九萬七千餘圓にして之を前年同期に比較する時は輸移出五百三十六萬九千餘圓輸移入百二十二萬四千餘圓合計六百五十九萬四千餘圓を孰れも增加し差引三萬五千餘圓の出超を示せり、次に三月中の輸移出入重要品に就き前年同月と比較し其の消長を觀察するに左の如し

▲輸移出貿易 輸移出貿易に在りては(一)農產物に於て米は引續き値輔の關係內地移出不振なりしも浦鹽並に滿洲出荷好況を告げ一面相場の騰貴と相俟つて五十七萬六千餘圓を增加し大豆並に棉花も亦出荷旺盛にして前者四十一萬三千餘圓後者四十二萬三千餘圓を增加せしのみならず鑛產物の輸移出は依然殷賑にして金銀鑛及び沃鑛に三十六萬三千餘圓重石鑛に五萬二千餘圓を增加し(二)而して減少の重なるものは牛皮の三十二萬八千餘圓、蘭の四萬二千餘圓、石炭の四萬九千餘圓等に過ぎず結局前記の如く多大の增進を示せり

▲輸移入貿易 輸移入貿易に於ては(一)銀價昂騰の折柄支那麻布に三十萬四千餘圓皮革界不振に基き生皮及び熟皮に三十萬餘圓を減退し其の他軌條及び附屬品に十五萬一千餘圓、マッチに四萬餘圓の減少を見しも(二)先高を見越し金巾類の入荷十四萬二千餘圓を增加せし外爆發物の十三萬六千餘圓、鐵道機關車の十二萬六千餘圓をはじめ其の他各品共概して增加せしを以て差引に於て百二十四萬七千餘圓を增進せり

◎京畿機業狀況

京畿道大正五年中改良織機に由る機業狀況は毛織機、絞織機、足踏機、動川機等の機臺數計八百十九にして之に對し製造業者の戶數二百三十二從業者九百十八人なり、此の生產高は絹織物、綿織物、交織物の種類主なるものにして計二十七萬四千九百六十二反此の金額二十八萬二千九十九圓なり因に年額千圓以上の製造戶數は四十五個なりと

◎東拓植林開始

東洋拓殖會社に於ける大正五六年度の植林計畫は既報の如く咸南德源郡德源面及び永登山の數百町步に對し既に植林用樹苗は全部森林試驗場元山の同社苗圃より植林現場に發送し終り長倉技師は近日同方面に出向先發の技手等と共に十四五日頃より一齊に植林を開始すべしと

◎鮮鐵運輸成績

三月中に於ける朝鮮鐵道の運輸成績を聞くに旅客收入は四十二萬三千圓にして前年より七萬三千圓を增加し貨物收入は五十萬二千圓にして同じく十五萬一千圓の激增を示し合計に於て九十二萬五千圓に達したり倘ほ一日一哩收入は二十八圓にして前年より五圓五十五錢の增收なりと

◎府國稅徵收狀況

本年三月末日調査に由る京城府の國稅に對する徵收狀況左の如し

▲市街地稅 調定額一八七、一七九圓收入濟額一八四、四一一圓收入步合九割八步五厘
▲家屋稅 調定額五五、九七六圓收入額五五、〇〇八圓同步合九割八步二厘
▲酒稅 調定額一六、五六九圓收入額一六、三九三圓同步合九割八步八厘
▲煙草稅 調定額四二八、九八六圓收入額四二八、七九五圓同步合九割九步九厘
▲鑛稅 調定額八、二七五圓收入額八、二七五圓同步合一
▲雜稅 調定額一四四圓收入額一四四圓同步合一
▲所得稅 調定額五七、七四九圓收入額一二、三二二圓同步合九割一步三厘

以上にして尙所得稅に對しては三月三十日決定通知を發せしもの其大部なるを以て未だ納入期間に在りし譯にして孰れも前年度に對比する時は著々良果を收めつゝあり因に未濟者六百十件に對しては已に財產處分の進行中なりと

◎輕鐵工事著手

朝鮮輕便鐵道會社は今回愈々工事に著手すべく八日午前十時大邱府外一里の地點達城郡東村に於て起工式を擧げ九日より大邱河陽間約十四哩半の線路工事に著手せり請負者は草梁小原爲氏にして竣工期日は八月下旬なれど全速力にて工事を進捗せしめ竣工期日前に工事を完成せしむ可しと(大邱)

◎京畿蠶紙配付高 京畿道

本年度の原蠶紙需用は春蠶種に於て約四十枚、夏秋蠶種に於て約二十五枚の見込なり尙ほ一枚に付き約三十枚內外の蠶紙を產するを得べければ蠶紙製造家には春蠶約千二百枚夏秋蠶約八百枚の配付を見るべしと云ふ

□上海より(一)

韓相龍

三月三十日

拜啓、小生去る二十六日上海に到著目下滯在中に御座候。三井洋行の御厚意に依り、自動車にて市街を一巡致候。當港は黃浦江に沿ひ、沿岸東西五哩、南北最短二哩の距離によりて構成し、六市に分ち一港をなす。就中各租界は家屋宏壯、道路廣濶、工場の黑烟天に漲り、船舶の帆檣林をなし、宛も西洋に出遊の感あらしめ候。曾て聞く「上海は小西洋なり」と、實に尤も千萬と存じ候。街路に立ちたる印度巡查は、體格健大威風堂々として大市街の取締役には最も適して居るやと存じ候。紐界の公園は、其規模としては大ならざるも、樹木淸楚、風致雅淡にして、殊に文人墨客の來遊あらば、淸なる春興を感せしむべしと存じ候。然し同公園には、支那人の出入を禁止するは大に腹立ち候。

◎秋山東拓技師渡米

過般米國へ出張を命せられたる東洋拓殖會社技師秋山眞男氏は十六日朝當地出發渡米の途に就く事に決せるが滯米期は約一箇年の豫定にて主として農事の調査及び視察を行ふ筈なりと

◎八木氏東京住所

既報の如く李王職囑託八木奬三郞氏は母堂逝去の急電に接し九日夜出發東上せるが東京の本宅は下谷區上根岸町二十九番地なりと

人事消息

▲馬詰次男氏(東京煙草朝鮮總販賣所長)十一日午前九時二十分南大門驛發元山に向ふ筈 ▲川那部甚平氏(京城取引所會社取締役)十日夜入京天眞樓へ ▲安武千代吉氏(釜山稅關長)▲莊野庫次氏(同)▲金田梧樓氏(同)▲佐々木啓綱氏(同)十日夜退京 ▲前田昇氏(總務部高等警察課長)同上晉州へ

■南言北語■

近頃獨逸では日本と獨逸との同盟を以て理想的同盟だと云ふ事になつて新に日本研究熱が素晴らしい相な▲而して日々の日本の出來事は勿論新刊書に至る迄紹介せられつゝあるとのこと▲之れは瑞典のストックホルムに約半個年も居た人の話だが獨逸の事だから之れ位の事はやつて居るかも知れぬ▲日獨同盟と云へば先達は日獨墨同盟說が飛び出して一時世間を騷がしたがお今度は墨國では實際獨探の腰押しで大騷ぎを始めたらしいから獨墨同盟でもやる積りかも知れぬ▲元來一般墨國人の獨逸崇拜熱は壓なもので墨國前大統領フエルタなどは▲世界の最も偉大な民族は墨西哥人と日本人と獨逸人だ▲他日墨日獨の三國は聯合して大に活躍する時が來ると豪語したと傳へらるゝ▲獨墨が同盟を仕やうが仕まいが其れは人樣のことで此方では何も知らぬ事だ▲だが何時も日本のお付き合に引き出さるゝは恐縮千萬である▲日本は今聯合軍と共通の敵を戰ひつゝあるんだ▲例の問題の芳川鎌子は尼となる相だが某法曹大家は鎌子は自殺敎唆罪だから宜敷裁判を待つべしと云つて居る▲其の理由は刑法二百二條に『人を敎唆若くば幇助して自殺せしめ又は被殺者の囑託を受け若くば其承諾を得て之を殺したる者は六箇月以上七箇年以下の懲役又は禁錮に處す』とある▲幇助とは物的關係で敎唆は精神的關係である▲此の理論上から云へば倉持は殉死で法律上一種の脅迫的自殺と見る事が出來る▲其處で鎌子は敎唆罪を構成すると▲理屈は兎に角として彼等の樣な連中は社會風敎の爲裁判所で一とつやつて見ると好い

□政戰場より

五島玉の浦にて

順風にいざ帆をあげん春の海　玄濤

同舟の浦にて

浦山や靜かに春の雨しみて　欣堂

◎英海軍獨潛艇捕獲數

英國封鎖大臣ロバート、セシル卿の發表せる所に依れば英國海軍は二、三月中に九十隻の獨逸潛航艇を捕獲せり(倫敦電報)

◎英軍進出敵兵捕虜

ヘーグ元帥發公報に曰くルーヴェルヴァルの北方三千碼の戰線に亙りて我軍は多大の進出を爲しイープルの東南方及び其他の各地點に於て敵の戰線に突入し敵兵を捕虜とせり(倫敦電報)

◎湯玉麟事變全く平定

湯玉麟事變は全く平定し新民屯に向ひし軍隊は二營の外奉天に引き揚げ張督軍は九日夜時局平定祝の盛宴を張れり(奉天特電)

◎獨逸の奸策

[illegible]とは出來ない獨逸が講和を要望しつゝあるは事實にして西部戰線に於け[illegible]に離からず講和問題が露國革命遂行後俄然色彩を濃厚にせるは主とし[illegible]る事を好まず機會あらば此等スラブ民族を打つて一民主國を構成せん野[illegible]強固にしたる此不穩の狀態を見た同國政府は對內策として飽迄平和を恢[illegible]其結果再び聯合國側より之を拒絕せられた場合には又もや戰爭の責は英[illegible]として兩國方面に力を致し以て講和の緒を見出さんと欲する策略で[illegible]

[illegible]り損害六十圓溫突の焚火が松葉に延燒し擴大したるものなりと又全州[illegible]

最良香油 いなよ代 すき油 びん付
各博覽會賞牌數個受領
本舖 東京 井善製
大阪市久寶寺町 藤森源之助 電話南一八七八番

金剛飴と栗羊羹
京城本町 電話二十七番 四七五番 龜屋商店

商標 登錄 藤澤樟腦
花見時の溫味で害虫が烈しく增殖ます イマスグ鍾馗印を
大金十二錢 中金七錢 小金三錢五厘 碁石形 大罐金五十錢 小罐金十錢 各地藥店にあり

學生諸君へ 試驗優美 組合セ文房具ニ限ル 京城本町

宮內省御用達 三ツ矢サイダー 平野水 オレンジ
發賣元 帝國鑛泉株式會社

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郞
京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店 電話長五八番 振替貯金京城一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

[illegible]何等具體的に現はれたるに非ざるも單に一片の風說として觀過するこ[illegible]はざるも勃國の單獨講和申込の如き獨逸が或種の策略に出で居るは想像[illegible]も常に[illegible]

▲墺洪國の主權に　服從す

[illegible]たから墺洪國内一千萬のスラブ民族[illegible]關係上再度の講和申込を決意した[illegible]ものとも想像し得られぬでもないがは一層墺洪國に對する反逆的決意を[illegible]國の現狀の如き單に經濟上のみよりするも到底獨逸の敵に非ざるより主[illegible]

[illegible]し二萬を算し[illegible]全在學方より三日午後十時過ぎ發火[illegible]焚火不始末より發火せしものなりと

●露都革命實見記（二）

◇男も女も赤旗を翻へして＝
◇慘たり矣ネバ橋畔の砲戰＝

露都にて＝小田柳翠手記

○三月十二日（月曜日）

◇朝の間は案外市中が平靜なので日本大使館に自分宛の手紙をとりに出かける、電車は矢張り何處も動かぬ。其の間自分はボン／＼と街の彼方に銃聲を聞いた、何心なく其の方面に出て行くと其處にはまた物騷な兵士が拔劍しつゝ大群集を爲して居る、唯見れば大學の制服をつけた多くの學生が士官と共に自動車に乘つて指揮刀を閃めかしつゝ何處へか驅驅しつゝある、民衆と兵士とは互に雜然と入り混れてウラー‼ウラー‼を連呼してゐる

◇そして居るほどの人間は老若男女を問はず赤旗をひるがへし手に手に銃劍を把つて叫んでゐる、そして彼處からも此處からも盛んな銃聲が起つて露都の天地は殺氣天に冲するの光景である

◇大使館に著くと館員は語るらく勞働窟は昨夜の間に同盟罷工を爲し本朝六時プレオブヂンスカヤの兵營が革軍に投じたのだといふ、且つまた多數の大學生は今砲兵工廠を襲うて兵器彈藥を徵發しつゝある……となるほど先刻老幼男女の群集が手に手に把つた銃劍は工廠の徵發ものだなと解つた

◇猶ほ街の電信電話は破壞された、國事犯人を投獄した二大監獄は革軍の手によつて開放せられた、露都の危險はいよ／＼益々増大されつゝあるのだ

◇此の時俄かに帽子も冠らず大使館に飛び込むだ邦人がある、如何なる椿事ぞとのぞきこむと其の人は息せき切つて『牧瀨さんがやられた‼』といふ、牧瀨さんは高田商會の出張所の主任、今朝今飛び込むだ關野氏と共に砲兵工廠に用達に行つてゐると突然流彈が見舞つて大腿の半分を奪ひ去つたのだといふ、關野氏もその時傍に打倒れたが幸ひ生命には別條なかつた……だから此處まで逃げて來たのだといふ、街は危險い危險いといふ

◇そこで大使館は武官は軍服を脊廣に著換へながら關野氏と上田氏と同伴死體の收容に出かけるのであつた此の日工廠の士官等は見付かり次第革軍の婦人小供等に射殺されるので武官達の工廠行きも實に死を賭しての仕事であつた

◇自分は館員の止むるをも肯かず再び大使館をあとに宿に歸る、途中大使館前を流るゝネバ河の上を見ると、リテーネ橋畔には盛んに赤旗が動いて居る、そして八臺の軍用自動車が色鮮やかな赤の革命旗を翻しつゝ兵器彈藥を滿載して來る

◇橋畔から第十九號通りの大街路には箱もて造られたる急造堡壘が築かれ官兵と對峙すべく野砲三門が火蓋を切んとしてゐる

◇そして其の一部は將に旗鼓堂々として ネヴスキー大街の方向に進軍しつゝある、また一方官兵側でも革軍の進出を邀擊するべくこれまた街の彼方に放列をしき機の熟するを待つてゐる、自分が道の五六丁も行つた頃バッと兩軍の火蓋は切られた、雷電‼閃光‼自分は宙を飛んで宿に歸る（つゞく）

早や三年も夢と過ぎぬ

偲び奉つる昭憲皇太后の御事ども

昭憲皇太后、みまかり給ひてより早や三年となりぬ。昭憲皇太后の御貞淑にして御德高く日本婦人の鑑として國民の御慕し奉つるところなるが　昭憲皇太后御在世の當時、御獎勵遊ばされし御事業を數へ奉つれば、先づ慈善事業としては赤十字社、愛國婦人會、慈惠台等最もその大なるもの、又敎育事業としては華族女學校即ち今日の學習院女學部は全く　昭憲皇太后の御創立と申すべく、その他御茶ノ水女子師範學校、盲啞學校、美術學校、音樂學校等にも多年行啓遊ばされ深き御仁慈を垂れ給ひし事は人の知るところなり、今や神靈遠く桃山に鎭まり在しまして國民は只、多く世に傳はれる御歌等を拜誦して、ありし昔の御面影を偲び奉つるのみ

●驅逐艦天津風の火災

去る九日吳軍港に於て碇泊中の驅逐艦天津風機關部より火を失したるも消し止めたり原因及び損害程度猶ほ不明なり（東京電報）

●持て餘した山水が五萬圓

過般岩本家の入札に出たる要文聰の水墨山水は妙な評判ありて買手なかりしが十日能登國七尾の徳爪讓太郎氏は五萬圓にて之を買取りたり（大阪特電）

●留置場を破つた大賊

餘罪悉く露顯

昨年十二月十八日本町警察署の留置場より逃亡したる京畿道廣州郡北面春谷里生れの雲瑞事安雲善（三七）は強窃盜前科三犯の曲者なるが此程高陽郡崇仁面にて取押へられ本町警察署にて嚴重取調べの結果明治四十三年十一月二十四日夜具春補、白泰龍と三名共謀して庖丁を携へ京城東部昌信坊東學洞李鳳根方に侵入し家人を脅迫して現金四十圓衣類雜品二十八點（四十一圓）を强奪し他の者は悉く檢擧されたるも雲善のみは巧に姿を晦ましゐたるものにして尚昨年十二月以降本年二月末迄に南山町三丁目竹林、授恩洞韓雲善、仁義洞尹聖化、蓬萊町二丁目八木某、初音町淨須文平方等にて現金衣類等を窃取し酒色に消費したる事判明し身柄は又々裁判所送りとなれり

●隣家を荒した女

岐阜縣可兒郡惟子村生れ京城花園町居住澤野良平妻りよ（四〇）は三月廿三日午後三時頃隣家渡邊隣磨方へ家人の不在中忍び込み押入れの中より衣類六點（三十二圓）を窃取し自宅に隱匿中を此程發見され本町警察署に引致取調べの上檢事局へ送られたり

●元郡書記の九百圓横領

愛媛縣宇摩郡妻鳥村當時京城西小門町横松某方止宿中なる宮本準郎（三二）は元慶南泗川郡廳書記財務主任として税金の徵收其他に從業中大正二年十一月より大正五年三月迄の間に同郡州贊面外數面漁夫二百九十九名より納入したる漁業税金の内を前後十數回に亙り八百二十五圓を横領消費し尚其他屠獸税七十二圓餘をも横領したること發覺して檢擧せられ晋州地方法院にて懲役二年の判決を受けしを不服として京城覆審法院に控訴したるも棄却となりたるより此程更に高等法院に上告中取下げて一審判決通り二年の刑期に服罪せり

●小刀で刺殺す

新義州榮町七丁目藤原精米所雇人慶天重（三二）は眞砂町六丁目居住選米機運轉手支那人武天祥（三二）より四圓の借金あり三日午後九時半頃榮町三丁目路上にて邂逅したる際天祥が天重に返金の督促をなしたることより爭鬪となり天重は携へゐたる小刀を天祥の左胸部に突刺し深さ心臟に達する重傷を負はせて卽死せしめたる所を天祥の實弟武天吉（二三）が天重を逮捕し新義州署に引渡し目下取調中

●罵れて絞殺す

平北定州郡玉泉面若山里鄭二龍（三七）は三月三十一日夜同洞酒幕崔庚彥方にて外五名と飮酒中桂瑞年（四七）に對し酒を奢れと强ひたる際同人に刎ねつけられたる上罵られたるより直ちに瑞年の咽喉を絞めて死に至らしめたる爲め二龍は定州憲兵分隊に引致取調べの上檢事局へ送られたり

●三强盜捕はる

忠南保寧郡嵋山面南深里金永福（二三）舒川郡東面邑里徐岩里吳先右（三二）は共謀し舒川郡西南面南田里普李面羅亭洞に於て二月二十六日夕刻南陽面烏石里の峠道を通行中を捻せ伏せ所持金三十七圓を强奪して逃亡中此程二名は舒川署の手に一名は保寧署の手に捕はる

●病者から强奪

忠北槐山郡長延面方谷里尹萬永（三七）は昨年十二月二十四日年齡五十歲位の鮮人男が病氣にて自宅に倒れ込みたるより宿泊せしめたるに次第に重態に陷りたれば同月二十八日同里の舟越峠に連れ行きて遺棄し病者の現金一圓二十錢を窃取したるが病者は寒氣と飢餓のため遂に死亡したる事發覺し公州地方法院にて懲役五年の判決を受けしを不服として萬永は京城覆審法院に控訴せり

●兇賊逮捕

平北寧邊郡梧里面鳳巢洞生れの金鎭洙（二五）は外一名と共謀し大正二年十一月中强盜傷人を働き爾來逃亡中此程博川郡々內面南部洞吳濟文方に潛伏中を寧邊署の手に捕はる

●魚此の頃

値段の滅法高い譯　種類は頗る多い

昨今の時候の替り目、輸入から袷へと移つてゆくにつれて食物から來る人の嗜好も脂肪の多い鳥獸肉よりは比較的輕い味の魚肉へ更に魚肉類から蔬菜類へと變つて行く、今は

◇魚類の味の最もいゝ時期である、四月を過ぎると魚の味は稍下り氣になる、例の南大門の日の丸市場が仲買人の拂戾不拂問題から紛擾つて休業した前後から京城の魚の相場がグン／＼騰つて市民の間に大分苦情が起つたが、日の丸市場の紛擾が曲りなりにも解決して九日から開市する事になつた此頃でも依然として値段は下らない、茲許鳥渡

◇臺所向き　の豫算に狂ひを來したと言つてもいゝ、魚の高い理由は日の丸市場の休業はその原因の全部では無く、近來内地各地の漁業が素晴しく好いために南朝鮮の沿岸で獲れる魚が多く內地へ向けられて終ふからである、それにトロール漁業の數が減り且つその取締りが嚴しくなつたために比較的安い魚の供給が少なくなつたのにもよる、要するに

◇品不足と　いふ事に歸着するが四月の中頃から北海岸群山から仁川、鎭南浦、元山等の漁期にも入るので此の方面からの著荷がある樣になれば相場も餘程緩和されることになるだらう、今年の三月中の平均相場は十貫につき鯛三十二圓、鰆二十七圓、鯖十圓、平目二十圓等であつたが昨年の同月の相場に比べると約二割方高くなつてる相場は日々變動があるけれど

◆大分變動　も、四月に入つてから十日までの平均相場は十貫目につき鯛が二十五圓乃至三十圓鰆が二十二三圓、鯖が十圓、鰹が九圓、アナゴが十四圓、平目の大が二十圓、鰈が七圓、黒鯛が十五圓位で此頃は一年中を通じて魚の種類が多い時季に入つてゐる、赤物といつてる鯛、甘鯛、紅小鯛は素よりあをものといふ鱸、鯖、鯵から

◆平目に鰈　グチ、アナゴ、烏賊その他大抵のものはある、上等物では鮑、サヨリ、甲烏賊、水烏賊、車鰕等であるさうである

前軍司令官井口大將の蠅嫌ひは有名なものであつた△大將は自分の出かけるところ每時室内の蠅を副官に退治させて其の後ちに這入つたものであつた△そして大將の蠅退治は必ず蠅を打ち殺さねば措かぬといふ主義△何故なれば蠅は生かして置く以上何度でもブン／＼とやつて來る△これを防ぐには一刀兩斷ピシヤリと敲きつけるが捷徑である……これは如何にも井口將軍式である△ところが現司令官の秋山大將と來ては蠅が居やうが虻が居やうが一向更に頓著なく場合によつては酒樽で一杯やつてもよいといふ流儀『俺しや構はんぢやよ』で平氣の平左△これについて面白いはなしがある、それは數年前大將が所用あつて滿洲へ赴く途中京城で某將軍と會飮したことがある△その時どちらも豁者ぞろひのことだから什麼芝居が始まるかと思うと一向奇もなく不奇もなかつたが△フト秋山大將のもつたコップに蠅が飛び込むだ△すると大將は平氣でそれをグイと飮み相變らず御膳の上をパクついたのでこれには相手も參つた相だ

子寶なき御夫婦方に申上候

子なき婦人の不幸

『白かねも黄金も珠も何かせむ子にます寶世にあらめやも』と申す古歌の通り假令百萬の富はありとも夫婦の仲に子なき者ほど寂しく心細く行末の頼りなさは　これあるまじく候

『どうして子供が出來ないだらう、一人位あつてもよささうなものだ』と神佛に願をかけるやら、お呪ひをするやら、いろ／＼手を盡せども其甲斐なきに果は自暴を起すもあれば又は夫婦の不和を招ぎ、良人の放蕩に次ぐに離緣問題の起るなど世に其例尠からず婦人の身としてこれほど不幸なる事は無かるべく候。斯る人々の胸中さこそとお察し申され候へ共そは甚だ誤れる事かと考へられ候元來祈禱やお呪ひで子寶の授かるものでは無之夫婦揃つて身體さへ丈夫なら同棲一二年にしておのづから娠すべきものに候。其然らざるは夫婦何れにも故障のある證據にて、稀には夫に子胤なき場合もこれあり候へども其十中八九までは婦人生殖器の異狀に基くものに候。就中多きは俗に血の道と稱する子宮內膜炎にて候

子胤を殺す白帶下

玆に子宮內膜炎の容態を略と申上ぐれば、最初月經の不順になり足腰が冷え易く頭痛、眩暈、肩の凝り、逆上等に次いで下腹が引吊るやうに痛み、又そこに固い拳ほどの塊りが出來て時々胸元へ差込み其苦しさは無之候又精神にまで異狀を來し、平常何とも無かつた事が心配になつたり、苦勞性になつたり氣の浮沈みが激しく相成候由して陰部からは白帶下と申す水渫のやうな惡臭き分泌物が致し候が之が何より怖ろしき不姙症の原因と相成るものに候。其仔細は子宮內膜炎より起る白帶下中に男子の精蟲を殺すべき酸性を含み居るが故に子胤を絶つも同樣の次第に候。子寶を得んと欲すれば先づ子宮病を根治して白帶下を去る方法を講ずるが專一に候。

婦人病自宅療法

さてそんなら子宮病を根治する方法と申し候へば最も安全確實なるは彼の有名なる藥學博士下山先生が卓効無比と證明せられたる『命の母』を服用する事に候。命の母は婦人病一切の特效藥として世間に定評これあり候へ共玆に揭ぐる寫眞の主の如きもその一例にて候。この婦人は多年子宮病に惱まされ一人も子寶なかりしが、命の母の服用によつて身體の健康を恢復し御覽の如き愛らしきお子さんを儲けられたるものに候。論より證據、速に命の母によつて怖るべき病魔を根絶し姙娠の福音を得られん事を切にお勸め申上候。○尚ほ婦人病者の心得』と申す衞生書を一讀すれば姙娠及び不姙の原理、婦人病一切の自宅療治産前産後の養生法まで詳しくお解り可申候。左記何れかへ▲ハガキ又は電話にて御申込次第無代にて送本可仕候。

東京市京橋區新榮町四丁目（電話京橋二二〇一番）
命の母本舖　笹岡省三藥房
大阪市北區本庄中野町（電話東二二三番）

◎軍隊拂下被服類
◎毛布役得の御依頼に應ず
其他メリヤスシャツヅボン下
右昨年殘品多數大見切にて販賣可仕候
京城北米倉町電話千百十二番
メリヤス雜貨卸商　村上商店

最新刊

書名	著者	定價
大字典	上田萬年外四名	[illegible]
增補訂正漢和大辭林	芳賀剛太郎	[illegible]
最近の南支	井出季和太	一、四〇
新編肥料學全書	吉村清尚	二、二〇
一家經濟生活法	[illegible]	一、二〇
所有土地登記法	[illegible]	一、〇〇
潜水艇と潜水戰	伊藤正德	一、六〇
修養第一義	加藤咄堂	一、二〇
新詩選評釋附詩源	[illegible]弘	一、一〇
正しき證書の書き方	安部安道	九〇
臨時一覽	朝鮮總督府	四〇
田尻博士講演集	[illegible]	九〇
安全生活	橋本弘	八〇
古人に學べ	笹川臨風	一、四〇
禪のはらわた	菅原時保	八〇
漱石警句集	[illegible]	八〇
哲人高山樗牛	西宮藤朝	一、〇〇
お入重	田山花袋	四〇
移動小舟	黒岩涙香	一、四〇

大阪屋號書店
京城本町一丁目　電話六八〇二一番　振替京城三五七三番

花柳病外科專門
●梅毒●痳病●淋病●尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病
●婦人病●神經衰弱●ヒステリー
○六〇六號注射包皮手術其他 毎日
京城南大門通東洋拓殖銀行裏
司生堂醫院

M印　品質本位　ミツマリ

松田式ポンプ

御申越次第目錄送呈
朝鮮一手特約販賣
京城本町二丁目
釘本藤次郎商店
電話四五番二七七四番
振替京城二五六番

大正六年四月十一日（水曜日）　京城日報　（明治四十二年九月十日第三種郵便物認可）第三千四百三十六號

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百三十二　根くらべ「廿六」の二

「いや、絹代、過ぎ去つた事は夢ぢや。お前も詫びるには及ばんけうや。乃公もそんな諺語は聞きたうないが……要は今後の相談ぢやよ。お前を助けた彼の入谷の八太郎は、乃公が先代からの出入りの者で、此の上もなう正直一本氣の奴ぢやが、彼の男にお前が救はれたと云ふのは、よく〳〵お前の幸福で、同時に又乃公の僥倖であつたのぢや。謂り、お前が復び乃公の手元へ戻つて來るべき吉兆と天運とが、坐がらにして當運して來たと云ふもんぢやてなう。は、はゝ。豈夫に今度は、乃公の意志に從はんなどゝ、そんな野暮は言はんぢやらうの。」

所謂男の意地からでもあらうが、久々で此の可憐なる絹代の顏を見ると同時に、男爵の戀の野心は、立ろにして復活したのである。云ふまでもなく男爵の戀は、初めより眞面目なるが如くして、而も決して眞面目ではなかつた。金力と權威との下には怎麼なる女と雖も、意志の儘にならぬ筈はないと信じて居た男爵自身の頭腦には、寧ろ此の絹代なる女の片意地と剛情さが不思議でならなかつたのである。一方に於て、昔馴染とは云ふものゝ、桑原の手活と成り澄まして居た綾香のお袖さんも、今の如く自身の側へ引付け得る丈の手腕と云ふよりも寧ろ放縱勝手なる擧動を敢へて爲て居る男爵に取つては、絹代を説き落す事のそれが、一種無限の興味――若くは歡樂として待ち設けられて居たのであつた。顧する所、男爵の初一念は、此の興味と歡樂を貪らんが爲めの初一念で、彼の松崎の絹代に對する野心に、殆んど同一轍なのである。只、男爵の方は、貴族と云ふ肩書があり、富と云ひ位置と云ふ外面的信用が大切な爲めに、松崎の如き野蠻的行動を爲ない丈の事である。その上、男爵の心事の惜むべき點を察ぐれば、男爵は、現に絹代の戀に戀つゝある彼の倉橋幸三郎をば數日前の夜自分の自動車で轢き倒して怪我せしめて居たから、その事は勿論、幸三郎が今淺草の病院に在る事などは、おくびの先へも出さうとは爲ないで、飽まで自己一人の慾望を遂げやうと務めつゝあるのである。無情も冷酷も茲に至つて極まれりである。

『御前樣、お言葉では御座いますが……妾はあの……浮世の一切を斷念致しまして御座います。』

絹代は、强き決心の色を現はして、比較的怯びれずに答へた。男爵には、それが甚だしく突飛な或る物の爆音かの如くに聞ねた。

『何ぢや絹代、浮世の一切を斷念したと申したやうぢやの。浮世の一切を斷念するとは、そりやお前、什うする事を言ふのぢや？』

「……はい、出來ます事なら、此方の御老僧にお願ひ致して、尼に成らうと存じて居ります所で……。」

「なに尼になる希望ぢやと？何ぼ寺の廡與に匿まはれたからと云ふて、然う遽かに佛心が付くとは奇妙ぢやの。」

斯う言つた男爵の片頰には、冷かでそして滑稽を帶びた笑ひが浮んだ。

「はい、妾自身でも不思議なほど佛樣のお側が懷かしくなりまして……心から學樂の法衣が慕ひたくなりまして御座います。」

「絹代、そりやお前、眞面目でそんな事を言ふとるのかの？」

男爵は、稍揶揄へ付けるやうな調子で言はれた。眼には彩からぬ不平の光りが輝いて來たのである。

「……眞實で御座います。」と、絹代は咽喉底で答へる。

「ふーむ、眞個ぢやと言ふのか？」

男爵は、双少時の内眼を光らかしつゝ、絹代の顏を熟と睨んで、

「ぢやお前は、絶對に此の直則を侮しやうと云ふ了簡で居るんぢやの。」

「どッ、什う致しまして……。」と、絹代は、今更のやうに狼狽顏して、怖る〳〵顳顬のやうに言ふのであつた。

「什う致してなら、何故、そんな木に竹を繼いだやうな口實を設けて、乃公が是ほどの熱心と親切とを無に爲やうとは爲るんぢや。絹代、お前は此の直則に何の怨みがあつて、左樣に一度ならず二度ならず赤恥を掻かさうとは爲るのぢや。」

男爵は、愈々膝を叩いて詰め寄られた。怒りの爲は、時々絶句するまでに顫への波を示した。

五月幟　友仙染武者繪各種三四円半至六円　京城本町二丁目　電話一五八五　二四四五　龜屋染工場

京城吟社句録　第二回〔六、四、十一〕

春の月

春月の障子は知らで鎗ふ灯哉　橙黄子
春月や庭樹なければ綠淋し　同
濱鳴りや北町に來て春の月　浩一郎
謝の香は崖下に深し春の月　海心
雨戸明いて内々顏や春の月　草綠

乙鳥

乙鳥や暇あればする裁仕事　耕伯

醸造

乾す椽に酒氣漂へる乙鳥哉　浩一郎
主家追ふて我家富み行く燕の巣　北星

連翹

連翹や僧は名のみ之錢に媚ぶ　齊丘
連翹や使はず並ぶ甕の苔　俚人
塵築きし石の崩れや連翹花　田打夫

○次回四月十七日（火曜）夜、耕伯居に於て開催。

新刊紹介

◎次の世界大戰（長田文學士譯述）（博士所論）本書は一名日本の野心と題し伯林にて出版され匿名氏の原著なり推測する處獨て我邦に駐在せし獨逸大使か又は大使館參事官などの著なるべく頗る日本の事情に通じ居れるが著者は我國を聯合國と離間せしめんとして執筆せしもの、如く我邦を誣ひ中傷しあるも一方我國民か精讀し警戒し發奮せしめ反省せしめ又教訓する處尠からず開卷戰爭哲學の大要に筆を起し居るが其の旨とする處は日本が徹少なる一島より起り日清日露役を經世界政策を立て着々組織的に其の實現を企て歐洲大戰を機とし四方に勢力を扶植し其の勢の赴く所聯合國の利害と衝突しかつて白人に對する日鮮黄禍の實現となりて遂に次の世界大戰を醸すに至ると結べり卷頭澤柳博士の評論あり何人も一讀を要すべき好著たるを失はず（東京神田富山房八十錢）

▲學生（新學年號）中學生の頭顱『松本博士』中學入學當時の心持『吉田博士』を初め美しき春の自然觀察『平野博士』『神武天皇と大和民族』『三浦博士』『勇ましき今春の野球界』『横井三中教諭』櫻と日本人『桂月』等季節向の讀物の外學生英字新聞、文苑其他如例中學生向の雜誌として最も適當なるものなるべし（二十四錢東京市神田區神保町富山房）

▲新聞の新聞（四月號）卷頭『政界革新の一甲家』兒玉翠南は例に依り倚透羅切の文字『歐洲戰亂の前途如何』[illegible]（四月號）

▲面白倶樂部 [illegible]

▲演藝畫報（四月號）[illegible]

▲才媛文壇（創刊號）[illegible]（十五錢東京市牛込區神樂町一ノ一東京社）

▲文藝雜誌（五月號）名文研究『生方敏郎』[illegible]

▲女の世界（四月號）新らしい女は男を如何に見る[illegible]

▲料理の友（四月號）季節向和洋各種の料理を初め茶話會の催、名物だんごの色々其他獻立、西洋菓子製法等數十を收む（二十二錢東京府上大崎中丸大日本料理研究會）

▲青年界（創刊號）碧梧桐の大捷、大戰と思想の動搖、良い頭惡い頭、民謠童話等の外小說文壇及歷賞大募集あり（十錢東京市神田區猿樂町三ノ一青年社）

▲花（創刊號）園藝雜誌にして百合根の栽培、花の利用五種、對米輸入の植物、花類販賣の方法、花屋の看板等を收む（十八錢東京市下谷區上野櫻木町三六東京園藝社）

▲現代の園藝と家庭（家庭號）各園圖案、實用圖案を卷頭に記事には小兒の服裝、文房具手芸、料理其他家庭向圖案の興味あるもの多數收む（二十五錢東京市赤坂區青山南町二ノ四〇共社）

▲日本魂（四月號）帝國海員の一大缺點『橋中將』怖るべき國際關係の刺激『後藤武夫』日本帝國を背する泰西文學『ウエンライト』等（二十錢東京市京橋區三十間堀三ノ七共社）

▲詰斷（六〇）依例文晃、北海、林谷諸氏の俳句等の新趣向[illegible]其他を收む（十八錢東京市淺草區今戸町三共社）

▲人文（四月號）朝鮮の話『小杉未醒』教女學の折衷論『岡田朝太郎』十二時の打つ時『姉崎正治』宗教の世界等依例豊富の文字（十四錢東京市小石川區白山御殿町帝國學會事務所）

▲探檢（創刊號）亞細亞各部及南洋諸島の平和的開陸を目的とせる亞細亞學術探檢協會の機關雜誌也（非賣品東京市赤坂區靈南町七一亞細亞學術探檢協會）

▲世の中（四月號）貧地元經濟名傳、戀の蟠轆院長兵衛、姑殺女優と彼其他の情話、講談社會行脚等如例（二十錢東京市麴町區有樂町一ノ四賞業之世界社）

▲俳界（創刊號）一切の流派傾向を網羅し之等の相異れる所說作句評言を大觀し以て作句研究の資料初心者の指南車たらんとして生れたるもの（十五錢東京市京橋區築地二ノ二共社）

▲婦人之友（婦人獨立自活號）三宅博士、羽仁主筆の婦人自活に關する論說をはじめ十八婦人の手に成る職業の苦樂等讀むべきもの多く其他『家庭教育の仕方』『若奥樣向き帶の結び方』等實用的の記事例によつて賑かなり（二十錢東京府雜司谷上屋敷共社）

▲中央文學（創刊號）島崎藤村、赤木析平、岩野泡鳴、若山牧水、長田幹彥、田山花袋、生田長江其他諸氏を網羅せる文學雜誌（十五錢東京市日本橋區通四丁目五春陽堂）

滋養強壯料

芳香醇良なる本邦產天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

定價　一瓶　一圓七十錢　内地以外は關税運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大

健胃補血興奮作用卓絶

（現品縮寫圖）

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、强壯等の諸效驗を擧ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも能く消化吸收せられ、其の效價の倍增大することは既に公知の事實に屬す、[illegible]其の鐵劑不當ならんか、將又其の品質不良ならんか、之を服用するも曾に無効なるのみならず、却て不快なる結果を齎らす[illegible]天然葡萄酒を基礎とし、人造著色料を用ひず、[illegible]規那、鐵及葡萄酒を以て配合し、周到なる用意の下に調製せるもの[illegible]食慾缺乏、貧血、[illegible]ヒステリー、ヒポコンデリー、[illegible]神經の困憊、産後病後の衰弱、慢性の[illegible]身體の疲勞を回復し、元氣精力增進を欲する場合に[illegible]家庭必需品なり。

▼如斯人は滋養強壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、一體に貧血して居る人
一、榮養の不足なる人
一、顏の色の蒼い艶の無い人
一、生來虚弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、手足が冷えて寢つかれぬ人
一、やうな纖弱い人
一、身體の瘦削けて居る人
一、產後や病後の衰弱を早く回復したい人
一、食事の進まぬ人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、精神や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他結核性の病氣にて發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎や遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黄病など血液の病氣に罹れて居る人

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50.

▲賣捌――全國到る處の洋酒食料品店。藥舖。雜貨店▼

ミツワ石鹼　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　發賣元

登錄商號　東京市日本橋區橋町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋　丸見屋商店　電信略號◎ミヤ……振替口座東京七一〇番　營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

代理店　洋酒、罐詰　醬油、味噌　問屋　合名會社　國分商店　東京市日本橋際　電話特四本局九七二・一四六〇　二〇八〇・三〇八〇・三六一六番　振替東京二〇二八

代理店　洋酒、食料品、煉乳、賣藥　化粧品、雜貨、直輸出入商　松下善四郎　大阪市東區高麗橋貳丁目　電話本局長一八五〇番　長一八六二番　電信略號マツセ　振替口座大阪一二六番

大阪商船仁川出帆

○外航路線[illegible]

××○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行
汕頭丸　四月十五日
信濃川丸　四月廿五日後五時出帆
天智丸　四月廿二日

×◎群山、關門、神戸、大阪行
信乃川丸　四月十一日後五時出帆

××○木浦、釜山、長原、鄉の浦、長崎行
安東丸　四月十四日後二時出帆
安東丸　五月二日後二時出帆

△××○群山、釜山、福浦行
潮州丸　四月十五日後二時出帆
潮州丸　四月九日

××○鎭南浦、大連行
安東丸　四月九日後二時出帆
安東丸　四月廿七日

×○大連直航
福州丸　四月十日正午出帆
潮州丸　四月廿六日

◎西湖津新浦城津清津行（元山出帆）
宮島丸　四月廿九日後十二時出帆

◎清津行（元山出帆）
宮島丸　四月十一日後十二時出

○上海、芝罘、打狗行（大連出帆）
吉羽丸　四月十五日前六時出帆
樹北丸　四月十五日後四時出帆

御注意　[illegible]

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二〇番五五八番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開豊旅館　電話二六一番

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　四月廿一日正午出帆
三河丸　四月十二日正午出帆
[illegible]砂丸　四月　日正午出帆
仁川海岸町十一丁目　電話一番　郡司回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大有丸　四月十一日後四時出帆
秀吉丸　四月十七日後四時出帆
君が代丸　四月八日後四時出帆
神代丸　四月十五日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　京城南大門通　電話長一九五二番二三一番　[illegible]松原運送店（電話長一七〇番）

○江原丸　四月廿三日　○京畿丸　四月十五日　○黄海丸　四月十九日　○成鏡丸　四月廿九日　釜山發（門司より釜山各港寄港蔚陵島航路）
○鏡城丸　四月十四日　○昌平丸　四月十日　○鏡城丸　四月廿三日　元山發（元山より各港經由雄基行）
○昌平丸　四月　日　元山發（東海岸各港寄港）
○盛德丸　四月十六日　釜山發（甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行）
○江陵丸　○襄陽丸　毎日　釜山發・浦項發（長生浦方魚津寄港）
○三浦丸　四月十二日　釜山發（上水浦、統營、巨文島、濟州島各港寄港）
○海州丸○統營丸　○巨濟丸○慶寶丸　毎日　釜山發（各港經由馬山行）
○平壤丸　四月十二日　元山發（城津、淸津、雄基行）
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發（各港經由麗水行）
○慶興丸　四月十七日　木浦發（各港經由濟州島行四廻）
○慶興丸　四月十三日　木浦發（南多島海列島行月三回）
○公州丸　四月十五日　木浦發（各港經由濟州島行東廻）
○江原丸　四月　日　仁川發（芝罘、大連、安東縣行）
○昭水丸○麗州丸　四月十二日　四月十八日　仁川發
○宗信丸　四月十六日　仁川發（海州他各港經由鎭南浦行）
○全南丸○陽九　毎日午前　仁川發（江華島、橋島、海州行）

商況　大阪三品相場　[illegible]

▲後場の手振　[illegible]

北星町に差掛りたる際新岩洞昌道長男鄭淑（二）を轢き倒し右大腿骨を